

令和2年度
羽村市市政世論調査
報告書

令和2年11月
羽村市

目次

I 調査の概要 1

1. 調査目的.....	1
2. 調査の実施状況.....	1
3. 調査項目.....	1
4. 本報告書を読む際の留意点.....	2
5. 分析記述及び図表中の記号について.....	3
6. 標本誤差について.....	3
7. 地区・ブロック別の回収状況.....	4
8. 回答者の属性.....	5
(1)性別.....	5
(2)年齢.....	5
(3)未既婚.....	5
(4)職業.....	6
(4)-①通勤・通学地.....	7
(5)家族人数.....	7
(6)居住年数.....	7
(7)居住形態.....	8
(8)居住地区.....	8

II 羽村市市政世論調査の結果..... 9

1. 定住性と住みよさ.....	9
(1)住みよさ.....	9
(1)-①住みよい理由.....	11
(1)-②住みにくい理由.....	12
(2)定住意向.....	13
(2)-①定住意向を選択した理由.....	15
2. 市の取組みに対する満足度・重要度.....	16
(1)基本目標1：生涯を通じて学び育つまち.....	16
(2)基本目標2：安心して暮らせる支えあいのまち.....	18
(3)基本目標3：ふれあいと活力のあふれるまち.....	20
(4)基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまち.....	22
(5)基本構想を推進するために.....	24

(6) 満足度と重要度から見たゾーニング分析.....	26
(6)-①【ゾーニング分析】基本目標1:生涯を通じて学び育つまち.....	27
(6)-②【ゾーニング分析】基本目標2:安心して暮らせる支えあいのまち.....	28
(6)-③【ゾーニング分析】基本目標3:ふれあいと活力のあふれるまち.....	29
(6)-④【ゾーニング分析】基本目標4:ひとと環境にやさしい安全で快適なまち.....	30
(6)-⑤【ゾーニング分析】基本構想を推進するために.....	31
3. 羽村市の魅力・羽村らしさ.....	32
(1) 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事.....	32
(2) 希望する将来の市のまちづくり.....	35
4. 市政への関心度.....	38
(1) 市政への関心度.....	38
(2) 力を入れてほしい、実施してもらいたい取組み.....	39
(3) 市政への参加・協働意向.....	42
5. 市民活動.....	44
(1) 市民活動への参加状況.....	44
(2) 町内会・自治会組織への不参加理由.....	46
(3) 市民活動への不参加理由.....	48
6. 男女共同参画.....	49
(1) 各分野における男女平等感.....	49
(2) 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと.....	51
(3) 女性が職業を持ち続けるために必要なこと.....	53
(4) 配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度.....	55
(5) 男女間の暴力を防止するために必要なこと.....	56
(6) 主な家事従事者.....	58
(7) 男女共同参画に必要なこと.....	64
7. 行財政改革.....	66
(1) 行財政改革に対する考え.....	66
8. 水道事業.....	69
(1) 市水道事業の水源の周知度.....	69
(2) 市水道水の印象.....	70
9. 環境.....	71
(1) 環境への取組みとして重点をおくべきもの.....	71
(2) 「グリーン購入」制度の認知度.....	73
(2)-①「グリーン購入」の製品の購入状況.....	73
10. 高齢者福祉.....	74
(1) 市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組み.....	74
(2) 老後の暮らし方.....	76
11. 障害者福祉.....	78

(1) 今後必要な障害者福祉に関する取組み	78
12. 子育て支援	80
(1) 今後必要な子育て支援に関する取組み	80
13. 防災・防犯対策	83
(1) 防災対策で重点をおいて進めるべきもの	83
(2) 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの	85
14. 都市基盤	87
(1) 市の都市基盤整備に望むこと	87
(2) 市の道路整備で優先すべきもの	89
(3) まちの活性化のために必要な取組み	91
15. 生涯学習	93
(1) 「学び」に関する活動の実施	93
(2) 「学び」を行う目的	94
(2)-①「学び」の分野	95
(3) これからの「学び」に取り組むための目的	96
(3)-①「学び」に取り組まなかった理由	97
(4) 月間の読書冊数	98
(4)-①読書の目的	99
(4)-②本の入手方法	100
(5) 年間のスポーツ・運動日数	102
(5)-①スポーツ・運動を行う理由	103
(5)-②この1年間に行ったスポーツ・運動の種目	104

III 調査票 105

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、羽村市民の市政に対する意見・要望などを把握し、今後の市の取組みや施策に活かすことを目的に実施しました。

2. 調査の実施状況

実施時期	実施方法	対象者数	回収状況
令和2年8月24日から 令和2年9月10日まで	郵送配付・ 郵送回収	住民基本台帳から層化二段無作為抽出した 羽村市在住の満18歳以上の男女1,200人 (令和2年8月1日基準日)	538票 44.8%

3. 調査項目

本調査の調査項目は、以下のとおりです。

調査項目	
(1) 定住性と住みよさ	(2) 市の取組みに対する満足度・重要度
(3) 羽村市の魅力・羽村らしさ	(4) 市政への関心度
(5) 市民活動	(6) 男女共同参画
(7) 行財政改革	(8) 水道事業
(9) 環境	(10) 高齢者福祉
(11) 障害者福祉	(12) 子育て支援
(13) 防災・防犯対策	(14) 都市基盤
(15) 生涯学習	(16) あなた自身のことについて

4. 本報告書を読む際の留意点

- 図表中の「n」は、設問への回答者数を表しています。
- 図表中の数値は、特に断りのある場合を除き、いずれも回答率（%）を表示しています。
- 回答率（%）は、全て小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までを表示しています。
したがって、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 回答には、単数回答と複数回答があり、複数回答は、回答率が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計では、分析軸の「その他」や「無回答」等を省略している場合があります、分析軸のnの合計値と全体が一致しない場合があります。
- クロス集計の回答者数が傾向を分析する上で十分とは言えない30サンプル未満の結果も含まれますが、参考値として掲載しています。また、本報告書全体について、分析記述の考え方は「5. 分析記述及び図表中の記号について」のとおりとします。
- 各回答率について、小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までを表示しています。
そのため、図表中では「5. 分析記述及び図表中の記号について」の条件を満たしている場合でも、文章として記述していない場合もあります。
- ゾーニング分析については、小数点以下第二位までの表示となっておりますが、より正確な分析を行うため、小数点以下第三位までを考慮して分析しています。
- 図表のタイトル及び回答の選択肢は、調査票の表記から簡略化して表現している場合があります。
- 「Ⅱ 羽村市市政世論調査の結果」での地区・ブロック名は、表記の都合上、本文中の分析記述及び図表中において以下のように簡易的に表示しています。

地区・ブロック名		分析記述・図表中での表示名
神明台1～4丁目	→	神明台
双葉町1～3丁目	→	双葉町
五ノ神1～4丁目	→	五ノ神
富士見平1～3丁目・ 羽4131～4184・五ノ神番地	→	富士見平・羽4000番台
緑ヶ丘1～5丁目	→	緑ヶ丘
栄町1～3丁目	→	栄町
小作台1～5丁目	→	小作台
羽西1～3丁目	→	羽西
羽加美1～4丁目	→	羽加美
羽中1～4丁目	→	羽中
羽東1～3丁目	→	羽東
川崎1～4丁目	→	川崎
玉川1～2丁目・羽690～744	→	玉川・羽600～700番台

5. 分析記述及び図表中の記号について

- クロス集計の結果については、全体との比較を中心に分析記述を行っており、属性（性別、性・年代別、居住地区、居住年数、定住意向）ごとに回答差が最も大きい項目及び、他の項目と比較し特筆すべき特徴を有すると判断した項目を分析記述の対象としています。
- クロス集計の回答者数が傾向を分析する上で十分とは言えない30サンプル未満のものについては、分析記述の対象としていません。
- 記述の目安は、以下の表のとおりとなっています。

全体値より	☆: +20%以上高い(とても高い)	★: -20%以上低い(とても低い)
	○: +15~20%高い(高い)	●: -15~20%低い(低い)
	□: +10~15%高い(やや高い)	■: -10~15%低い(やや低い)

- 時系列比較の記述の目安は、以下の表のとおりとなっています。

前回(H27)、前々回(H22)と比較し、 今回(R2)の値が	±20%	:とても高い/とても低い
	±15~20%	:高い/低い
	±10~15%	:やや高い/やや低い

6. 標本誤差について

例えば、今回の調査の回答者数 (n) を 100%とする比率で、ある設問の回答が 50%であった場合、母集団（調査の対象となる集団の全体：羽村市在住の 18 歳以上の男女約 47,000 人）のこの質問に対する回答は、45.8% (50% - 4.2%) ~ 54.2% (50% + 4.2%) の間にあると考えられます。

回答割合	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%
標本誤差	±2.5%	±3.4%	±3.9%	±4.1%	±4.2%	±4.1%	±3.9%	±3.4%	±2.5%

7. 地区・ブロック別の回収状況

地区・ブロック名	対象者(人)			回収数(票)				回収率(%)			
	計	男性	女性	計	男性	女性	不明	計	男性	女性	不明
① 神明台1～4丁目	198	100	98	78	36	42	0	39.4	36.0	42.9	0.0
② 双葉町1～3丁目	63	33	30	26	8	17	1	41.3	24.2	56.7	1.6
③ 五ノ神1～4丁目	85	43	42	39	17	22	0	45.9	39.5	52.4	0.0
④ 富士見平1～3丁目・ 羽4131～4184・五ノ神番地	95	47	48	39	12	24	3	41.1	25.5	50.0	3.2
⑤ 緑ヶ丘1～5丁目	140	71	69	73	26	46	1	52.1	36.6	66.7	0.7
⑥ 栄町1～3丁目	103	53	50	42	20	22	0	40.8	37.7	44.0	0.0
⑦ 小作台1～5丁目	142	76	66	62	25	36	1	43.7	32.9	54.5	0.7
⑧ 羽西1～3丁目	62	32	30	20	7	12	1	32.3	21.9	40.0	1.6
⑨ 羽加美1～4丁目	92	45	47	45	18	27	0	48.9	40.0	57.4	0.0
⑩ 羽中1～4丁目	79	41	38	38	18	19	1	48.1	43.9	50.0	1.3
⑪ 羽東1～3丁目	66	32	34	27	9	16	2	40.9	28.1	47.1	3.0
⑫ 川崎1～4丁目	45	22	23	23	6	16	1	51.1	27.3	69.6	2.2
⑬ 玉川1～2丁目・ 羽690～744	30	16	14	12	4	8	0	40.0	25.0	57.1	0.0
無回答				14	4	8	2	1.2	0.3	0.7	0.2
合計	1,200	611	589	538	210	315	13	44.8	34.4	53.5	1.1



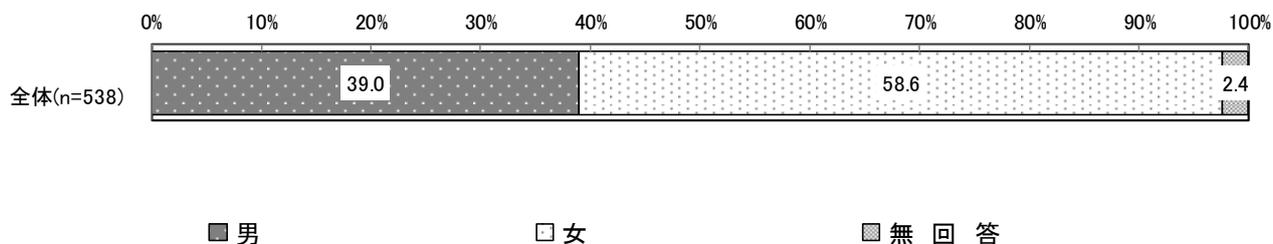
8. 回答者の属性

調査回答者の属性は以下のとおりです。

(1) 性別

全体では、「女性」が58.6%、「男性」が39.0%となっています。

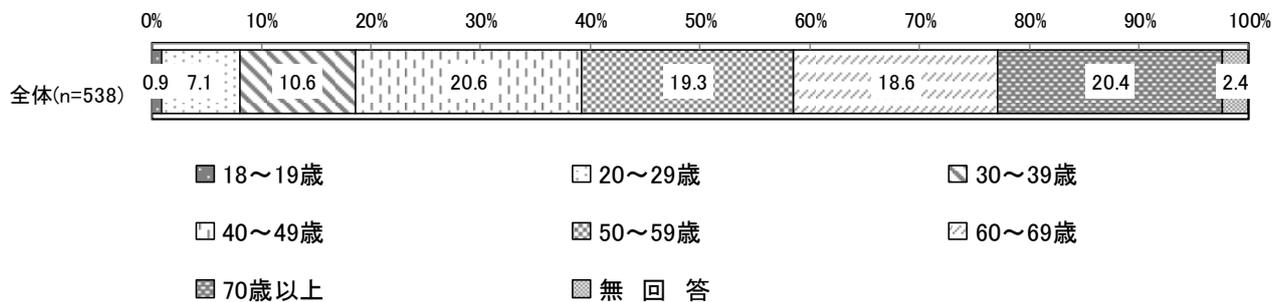
F1 性別[%]



(2) 年齢

全体では、「40～49歳」が20.6%、次いで「70歳以上」(20.4%)、「50～59歳」(19.3%)となっています。

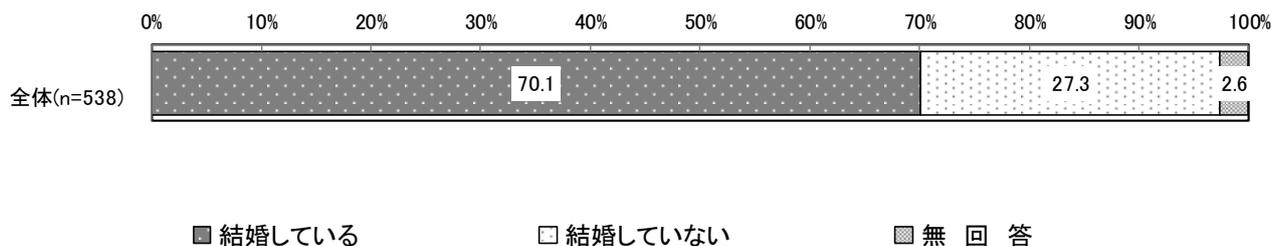
F2 年齢[%]



(3) 未既婚

全体では、「結婚している」が70.1%、「結婚していない」が27.3%となっています。

F3 未既婚[%]



(4)職業

全体では、「事務職・専門技術職（事務員、教員、研究員、病院勤務医師など）」が22.3%、次いで「主婦（夫）」（20.1%）、「技能職・労務職（店員、工員、外交員、運転手など）」（19.0%）となっています。

F4 職業[%]



- 農林漁業
- 商工サービス業(工場、商店などの個人経営)
- ▣ 自由業(開業医、弁護士、作家、僧侶、塾の経営者など)
- 管理職(会社、官公庁、団体の課長以上)
- ▣ 事務職・専門技術職(事務員、教員、研究員、病院勤務医師など)
- 技能職・労務職(店員、工員、外交員、運転手など)
- ▣ 学生
- ▣ 主婦(夫)
- 無職
- その他
- ▣ 無回答

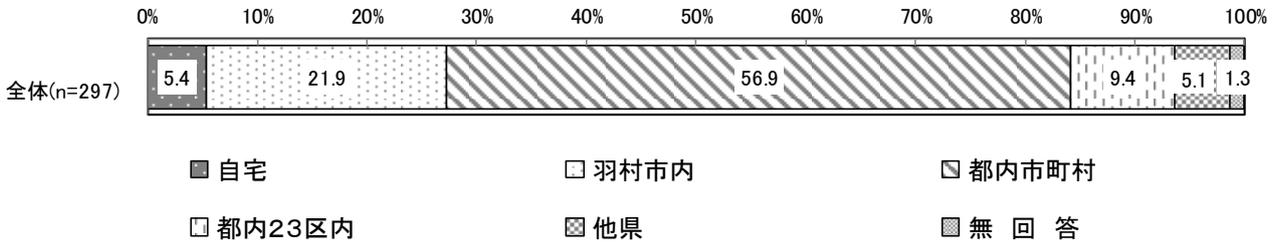
「その他」の回答内容	件数
介護・福祉系	9
パート・アルバイト	8
保育士	2
無職	2
個人事業主(講師業)	1
美容師	1
小売業販売員	1
会社顧問	1
音楽家	1
会社員(営業職)	1
マッサージ師	1
調理師	1
年金生活者	1
清掃業	1

※(4)-①は、(4)で「主婦(夫)」、「無職」、「その他」以外を回答した方のみの数値です。

(4)-①通勤・通学地

全体では、「都内市町村」が 56.9%、次いで「羽村市内」(21.9%)、「都内 23 区内」(9.4%) となっています。

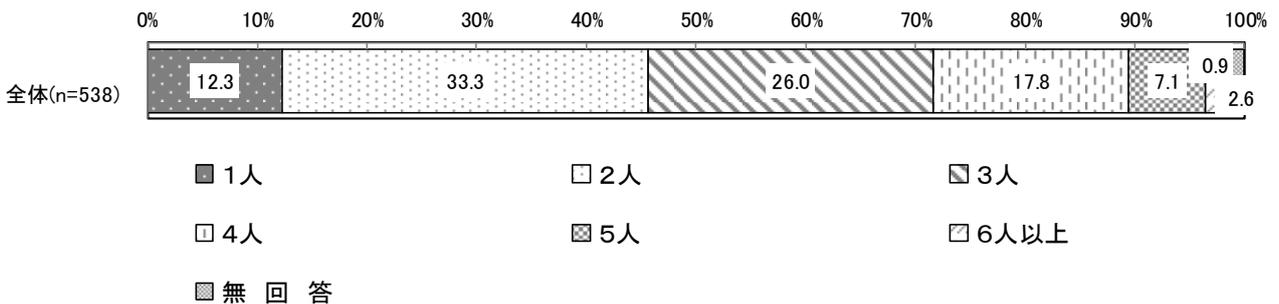
F4-1 通勤・通学地[%]



(5)家族人数

全体では、「2人」が 33.3%、次いで「3人」(26.0%)、「4人」(17.8%) となっています。

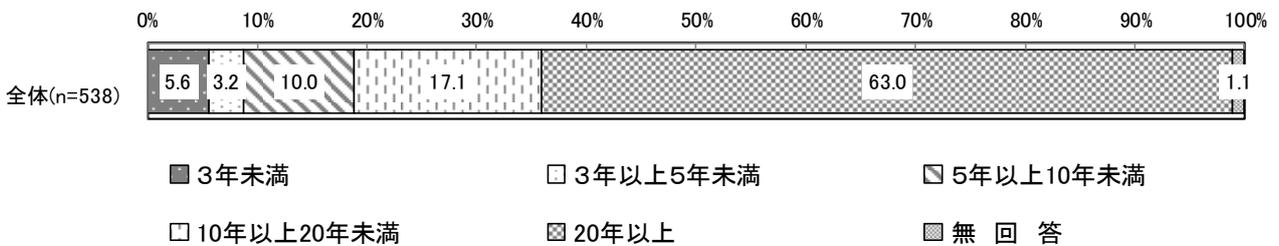
F5 家族人数[%]



(6)居住年数

全体では、「20年以上」が 63.0%、次いで「10年以上 20年未満」(17.1%)、「5年以上 10年未満」(10.0%) となっています。

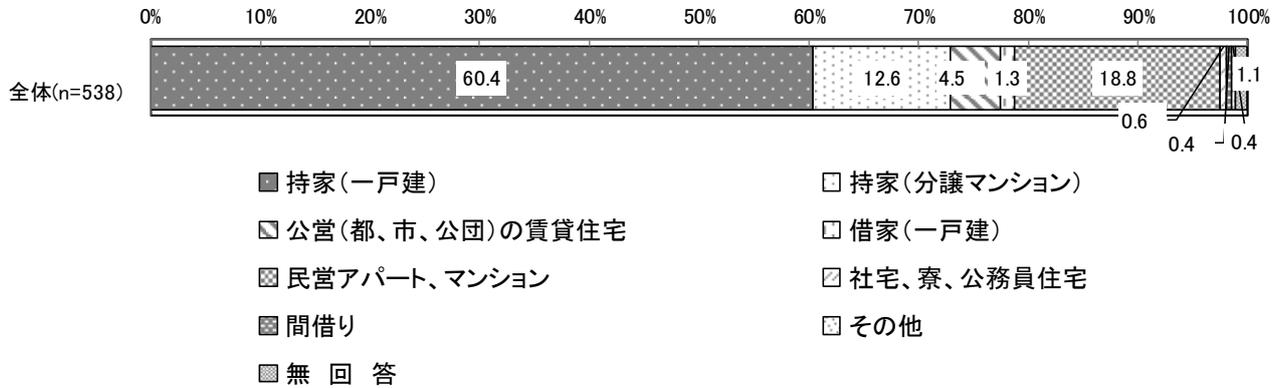
F6 居住年数[%]



(7) 居住形態

全体では、「持家（一戸建）」が 60.4%、次いで「民営アパート、マンション」（18.8%）、「持家（分譲マンション）」（12.6%）となっています。

F7 居住形態〔%〕

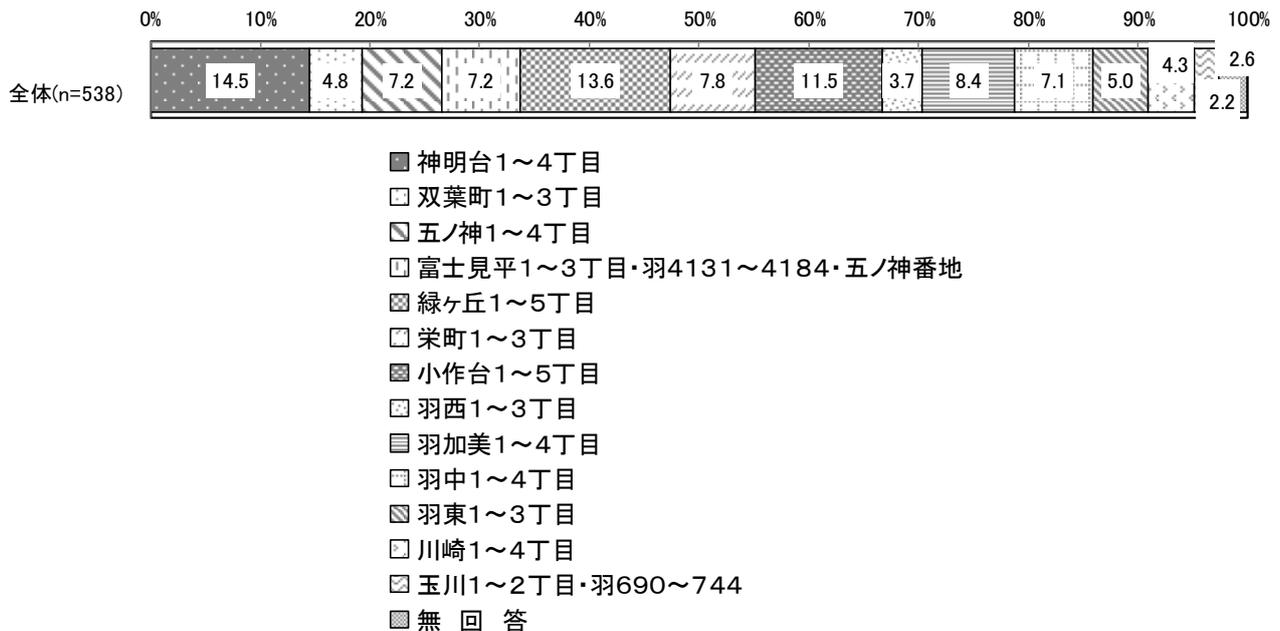


「その他」の回答内容	件数
2世帯住宅(子が所有)	1

(8) 居住地区

全体では、「神明台1～4丁目」が 14.5%、次いで「緑ヶ丘1～5丁目」（13.6%）、「小作台1～5丁目」（11.5%）となっています。

F8 居住地区〔%〕



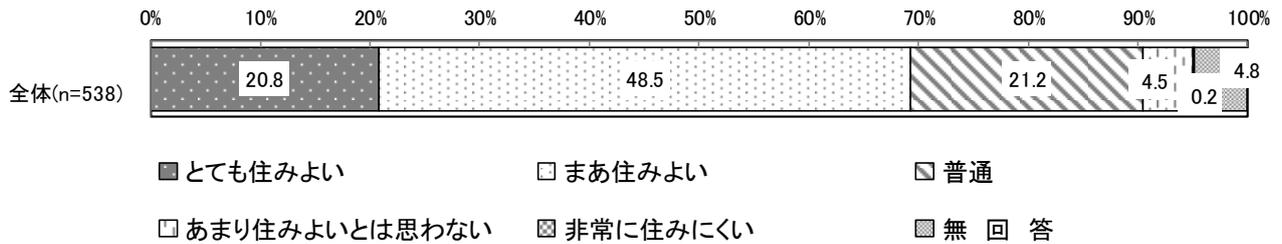
II 羽村市市政世論調査の結果

1. 定住性と住みよさ

(1) 住みよさ

全体では、＜住みよい＞（「とても住みよい」＋「まあ住みよい」）が 69.3%、次いで「普通」（21.2%）、＜住みにくい＞（「あまり住みよいとは思わない」＋「非常に住みにくい」）（4.7%）となっています。

問1 住みよさ[%]



過去の調査と比較すると、＜住みよい＞は 70%前後、＜住みにくい＞は 5.0%未満で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	とても住みよい	まあ住みよい	普通	あまり住みよいとは思わない	非常に住みにくい
今回(R2)	20.8	48.5	21.2	4.5	0.2
前回(H27)	22.0	49.2	19.9	4.1	0.4
前々回(H22)	20.9	50.8	17.9	3.9	0.6

性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「とても住みよい」(37.1%) が全体より高くなっています。

居住地区で見ると、五ノ神で「普通」(5.1%) が全体より低くなっています。

居住年数で見ると、3年未満で「とても住みよい」(43.3%) が全体よりとても高くなっています。

定住意向で見ると、ずっと住み続けたいで「とても住みよい」(32.2%) が全体よりやや高くなっています。

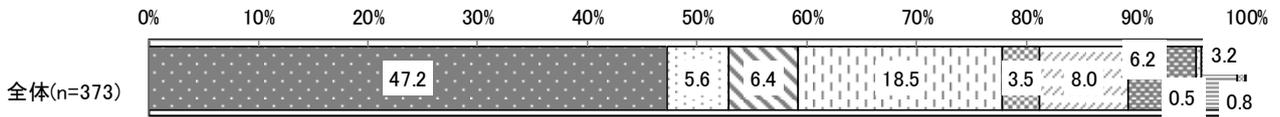
		n	問1 住みよさ					無回答
			とても住みよい	まあ住みよい	普通	あまり住みよいとは思わない	非常に住みにくい	
全体		538	20.8	48.5	21.2	4.5	0.2	4.8
性別	男	210	19.5	45.2	24.3	5.2	0.0	5.7
	女	315	21.3	50.8	19.4	4.1	0.3	4.1
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	17	29.4	41.2	29.4	0.0	0.0	0.0
	男・30歳代	22	27.3	50.0	18.2	4.5	0.0	0.0
	男・40歳代	49	18.4	49.0	24.5	2.0	0.0	6.1
	男・50歳代	31	25.8	● 32.3	25.8	6.5	0.0	9.7
	男・60歳代	40	17.5	45.0	25.0	7.5	0.0	5.0
	男・70歳以上	49	12.2	51.0	20.4	8.2	0.0	8.2
	女・20歳未満	3	□ 33.3	○ 66.7	★ 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0
	女・30歳代	35	○ 37.1	48.6	11.4	0.0	0.0	2.9
	女・40歳代	62	11.3	54.8	27.4	1.6	0.0	4.8
	女・50歳代	73	21.9	52.1	15.1	9.6	0.0	1.4
	女・60歳代	60	21.7	50.0	18.3	5.0	0.0	5.0
	女・70歳以上	61	18.0	49.2	19.7	3.3	1.6	8.2
居住地区	神明台	78	16.7	■ 38.5	29.5	3.8	0.0	11.5
	双葉町	26	11.5	57.7	26.9	3.8	0.0	0.0
	五ノ神	39	25.6	56.4	● 5.1	7.7	0.0	5.1
	富士見平・羽4000番台	39	15.4	□ 61.5	17.9	5.1	0.0	0.0
	緑ヶ丘	73	□ 31.5	50.7	15.1	0.0	0.0	2.7
	栄町	42	28.6	45.2	21.4	2.4	0.0	2.4
	小作台	62	14.5	41.9	27.4	8.1	0.0	8.1
	羽西	20	■ 10.0	■ 35.0	○ 40.0	5.0	0.0	10.0
	羽加美	45	24.4	53.3	20.0	2.2	0.0	0.0
	羽中	38	18.4	55.3	26.3	0.0	0.0	0.0
	羽東	27	29.6	55.6	● 3.7	7.4	0.0	3.7
	川崎	23	13.0	■ 34.8	□ 34.8	13.0	0.0	4.3
	玉川・羽600～700番台	12	25.0	41.7	16.7	8.3	0.0	8.3
居住年数	3年未満	30	☆ 43.3	■ 36.7	16.7	3.3	0.0	0.0
	3年以上5年未満	17	■ 5.9	□ 58.8	□ 35.3	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	54	16.7	51.9	24.1	7.4	0.0	0.0
	10年以上20年未満	92	20.7	■ 37.0	□ 32.6	6.5	0.0	3.3
	20年以上	339	20.6	51.3	17.7	3.5	0.3	6.5
定住意向	ずっと住み続けたい	270	□ 32.2	50.7	11.9	1.5	0.0	3.7
	当分の間住みたい	220	■ 10.5	52.3	30.5	3.6	0.0	3.2
	できれば転出したい	29	■ 6.9	★ 13.8	31.0	☆ 37.9	3.4	6.9
	転出する	7	★ 0.0	42.9	☆ 57.1	0.0	0.0	0.0

※(1)-①は、(1)で「とても住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方だけの数値です。

(1)-①住みよい理由

<住みよい>（「とても住みよい」＋「まあ住みよい」）と回答した方では、「自然環境がよい」が47.2%、次いで「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている」（18.5%）、「買い物が便利」（8.0%）となっています。

問1-1 住みよい理由[%]



- 自然環境がよい
- 交通の便がよい
- ▣ 都市環境がよい
- 道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている
- ▣ 住んでいる人の人情や気風がよい
- 買い物が便利
- ▣ 子育てする環境がよい
- ▣ 医療体制や福祉サービスが充実している
- ▣ その他
- ▣ 無回答

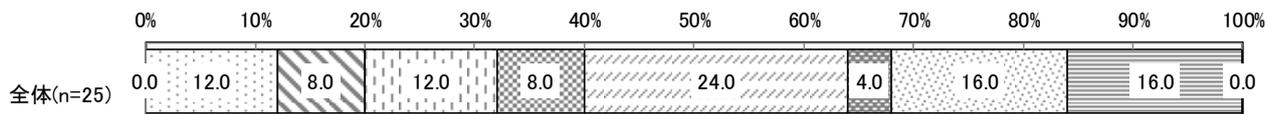
「その他」の回答内容	件数
住み慣れたから	2
羽村で生まれ育った	2
実家が近いから	1
水がおいしい	1
犯罪が少ない	1
産業育成に力を入れている	1
特に不便を感じない	1
その他	3

※(1)-②は、(1)で「あまり住みよいとは思わない」、「非常に住みにくい」と回答した方みの数値です。

(1)-②住みにくい理由

<住みにくい>（「あまり住みよいとは思わない」＋「非常に住みにくい」）と回答した方では、「買い物が不便」が24.0%、次いで「医療や福祉サービスが充実していない」（16.0%）、「交通の便がよくない」・「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が不十分」（12.0%）となっています。

問1-2 住みにくい理由[%]



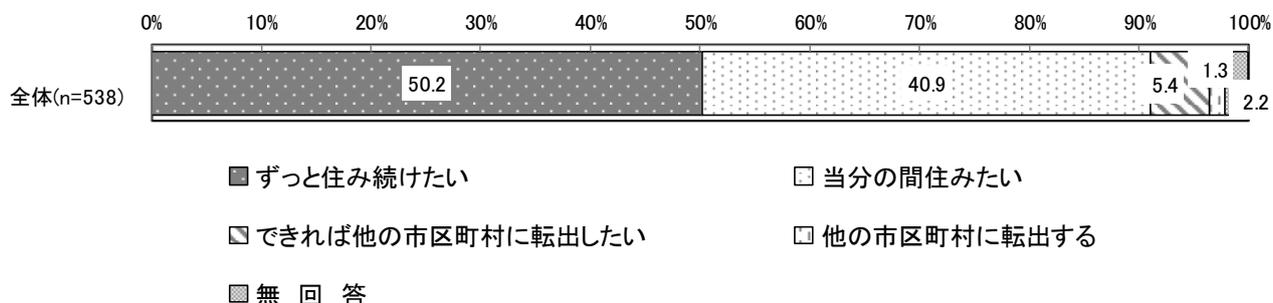
- 自然環境がよくない
- 交通の便がよくない
- 都市環境がよくない
- 道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が不十分
- 住んでいる人の人情や気風がよくない
- 買い物が不便
- 子育てする環境がよくない
- 医療や福祉サービスが充実していない
- その他
- 無回答

「その他」の回答内容	件数
飛行機の騒音がうるさい	1
税金が高い。無駄使いが多すぎる	1
ゴミの分別が煩雑	1
防災無線が迷惑。自転車の歩道通行、歩行者の左側通行	1

(2) 定住意向

全体では、「ずっと住み続けたい」が 50.2%、次いで「当分の間住みたい」(40.9%)、「できれば他の市区町村に転出したい」(5.4%)、「他の市区町村に転出する」(1.3%)となっています。

問2 定住意向[%]



過去の調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」は 50%台、「当分の間住みたい」が 30~40%程度、「できれば他の市区町村に転出したい」・「他の市区町村に転出する」は 10%未満で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の市区町村に転出したい	他の市区町村に転出する
今回(R2)	50.2	40.9	5.4	1.3
前回(H27)	56.8	33.4	5.6	1.2
前々回(H22)	54.2	39.2	3.7	0.6

性・年代別で見ると、女性 60 歳代 (71.7%)、女性 70 歳以上 (73.8%) で「ずっと住みたい」が全体よりとても高くなっています。

居住地区で見ると、小作台で「ずっと住みたい」(37.1%) が全体よりやや低くなっています。

居住年数で見ると、5 年以上 10 年未満で「当分の間住みたい」(64.8%) が全体よりとても高くなっています。

		n	問2 定住意向				無回答
			ずっと住 みたい	当分の間 住みたい	できれば他 の市区町 村に転出し たい	他の市区 町村に転 出する	
全 体		538	50.2	40.9	5.4	1.3	2.2
性 別	男	210	44.3	46.2	5.7	1.0	2.9
	女	315	53.0	38.7	5.1	1.6	1.6
性・ 年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	50.0	0.0	☆ 50.0	0.0
	男・20歳代	17	★ 17.6	☆ 70.6	11.8	0.0	0.0
	男・30歳代	22	● 31.8	○ 59.1	4.5	4.5	0.0
	男・40歳代	49	● 34.7	☆ 63.3	2.0	0.0	0.0
	男・50歳代	31	54.8	35.5	3.2	0.0	6.5
	男・60歳代	40	47.5	37.5	10.0	0.0	5.0
	男・70歳以上	49	□ 61.2	■ 28.6	6.1	0.0	4.1
	女・20歳未満	3	● 33.3	33.3	☆ 33.3	0.0	0.0
	女・20歳代	21	★ 14.3	☆ 76.2	4.8	4.8	0.0
	女・30歳代	35	■ 40.0	○ 57.1	2.9	0.0	0.0
	女・40歳代	62	41.9	46.8	3.2	4.8	3.2
	女・50歳代	73	47.9	43.8	6.8	0.0	1.4
	女・60歳代	60	☆ 71.7	★ 20.0	5.0	1.7	1.7
	女・70歳以上	61	☆ 73.8	★ 19.7	4.9	0.0	1.6
居 住 地 区	神明台	78	48.7	44.9	2.6	1.3	2.6
	双葉町	26	57.7	■ 26.9	7.7	3.8	3.8
	五ノ神	39	■ 38.5	□ 51.3	5.1	2.6	2.6
	富士見平・羽4000番台	39	41.0	43.6	10.3	5.1	0.0
	緑ヶ丘	73	53.4	38.4	4.1	0.0	4.1
	栄町	42	42.9	□ 52.4	2.4	0.0	2.4
	小作台	62	■ 37.1	□ 51.6	11.3	0.0	0.0
	羽西	20	55.0	40.0	5.0	0.0	0.0
	羽加美	45	60.0	33.3	4.4	2.2	0.0
	羽中	38	□ 60.5	34.2	5.3	0.0	0.0
	羽東	27	☆ 74.1	● 22.2	3.7	0.0	0.0
	川崎	23	■ 39.1	47.8	0.0	4.3	8.7
玉川・羽600～700番台	12	○ 66.7	★ 16.7	8.3	0.0	8.3	
居 住 年 数	3年未満	30	● 33.3	☆ 63.3	3.3	0.0	0.0
	3年以上5年未満	17	★ 23.5	☆ 64.7	11.8	0.0	0.0
	5年以上10年未満	54	● 31.5	☆ 64.8	0.0	3.7	0.0
	10年以上20年未満	92	■ 37.0	47.8	12.0	1.1	2.2
	20年以上	339	59.6	32.2	4.4	1.2	2.7

(2)-①定住意向を選択した理由

定住意向の各選択肢を選んだ理由は以下のとおりです。(自由記述)

<住みたい>理由	ずっと住み続けたい (件)	当分の間住みたい (件)
ずっと住んでいるから	51	12
程よく住みやすく、安心して暮らせる	49	26
緑、水など環境が良い	45	10
自宅があるから	39	20
地域の人間関係が良い	19	9
子育て環境が良い	14	9
公共施設・行政サービスなど生活する上で便利	9	2
動く理由がない	7	12
職場に近いから	1	19
住む場所を変えるのは大変	1	3
老後の生活のためにも将来は転出するかもしれない	0	15
将来羽村にいるかは分からない	0	13
親族の関係で将来は転出するかもしれない	0	13
多少不便を感じる	0	12
仕事の関係で将来は転出するかもしれない	0	8
その他	1	7

<転出したい>理由	できれば他の市区町村に転出したい (件)	他の市区町村に転出する (件)
もっと便利な所に住みたい	7	0
交通の便など生活しづらい	4	2
行政サービスに不満	4	0
将来羽村にいるかは分からない	2	2
地価が高くずっと住めない	2	0
活気がない	2	0
住みづらく感じている	1	1
環境が良くない	1	0
就職があるため	1	0
その他	1	1

2. 市の取組みに対する満足度・重要度

本節の本文、図表中にある項目の番号は、調査票の項目の番号に対応しています。そのため、基本目標ごとに並べた際に、順不同となっています。

(1) 基本目標1：生涯を通じて学び育つまち

「基本目標1：生涯を通じて学び育つまち」は【子ども・生涯学習の分野】の項目です。

満足度

＜満足＞（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した方では、「⑮生涯学習環境の整備（生涯学習センターや図書館等）」が72.8%、次いで「⑲羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり」（71.2%）、「④安心して子どもを産み、育てられる子育て支援」（70.2%）となっています。

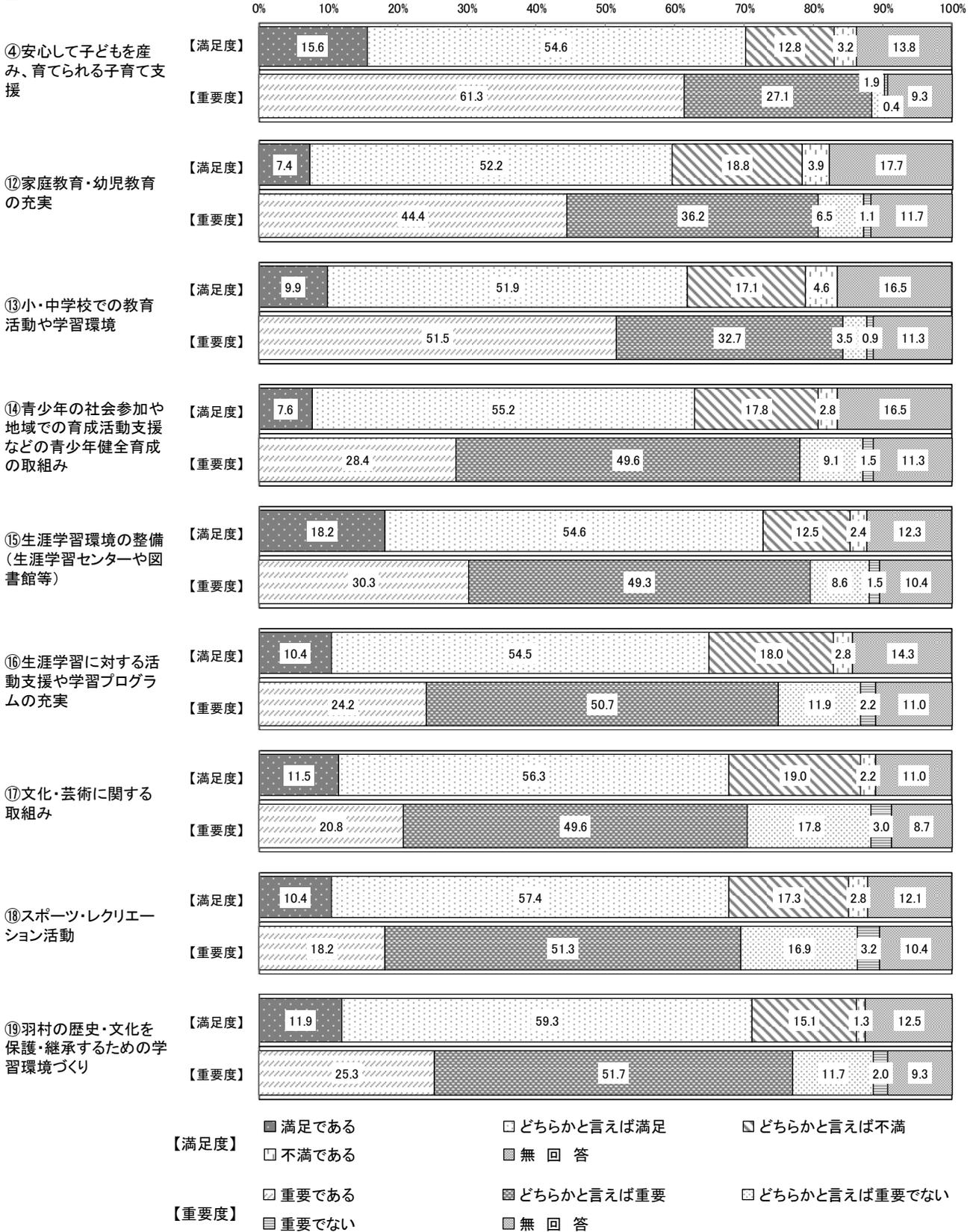
＜不満＞（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した方では、「⑫家庭教育・幼児教育の充実」が22.7%、次いで「⑬小・中学校での教育活動や学習環境」（21.7%）、「⑰文化・芸術に関する取組み」（21.2%）となっています。

重要度

＜重要＞（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した方では、「④安心して子どもを産み、育てられる子育て支援」が88.4%、次いで「⑬小・中学校での教育活動や学習環境」（84.2%）、「⑫家庭教育・幼児教育の充実」（80.6%）となっています。

＜重要でない＞（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した方では、「⑰文化・芸術に関する取組み」が20.8%、次いで「⑱スポーツ・レクリエーション活動」（20.1%）、「⑯生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実」（14.1%）となっています。

問3 市の取組みに対する満足度・重要度(基本目標1:生涯を通じて学び育つまち)[%]
 全体(n= 538)



(2)基本目標2:安心して暮らせる支えあいのまち

「基本目標2：安心して暮らせる支えあいのまち」は【福祉・健康の分野】の項目です。

満足度

＜満足＞（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した方では、「①小地域ネットワークや福祉のまちづくりなどの地域福祉」が71.7%、次いで「②高齢の方がいきいきと安心して暮らせるための取組み」（70.4%）、「⑩市民の健康管理支援や保健サービスの充実などの健康づくりの取組み」（68.4%）となっています。

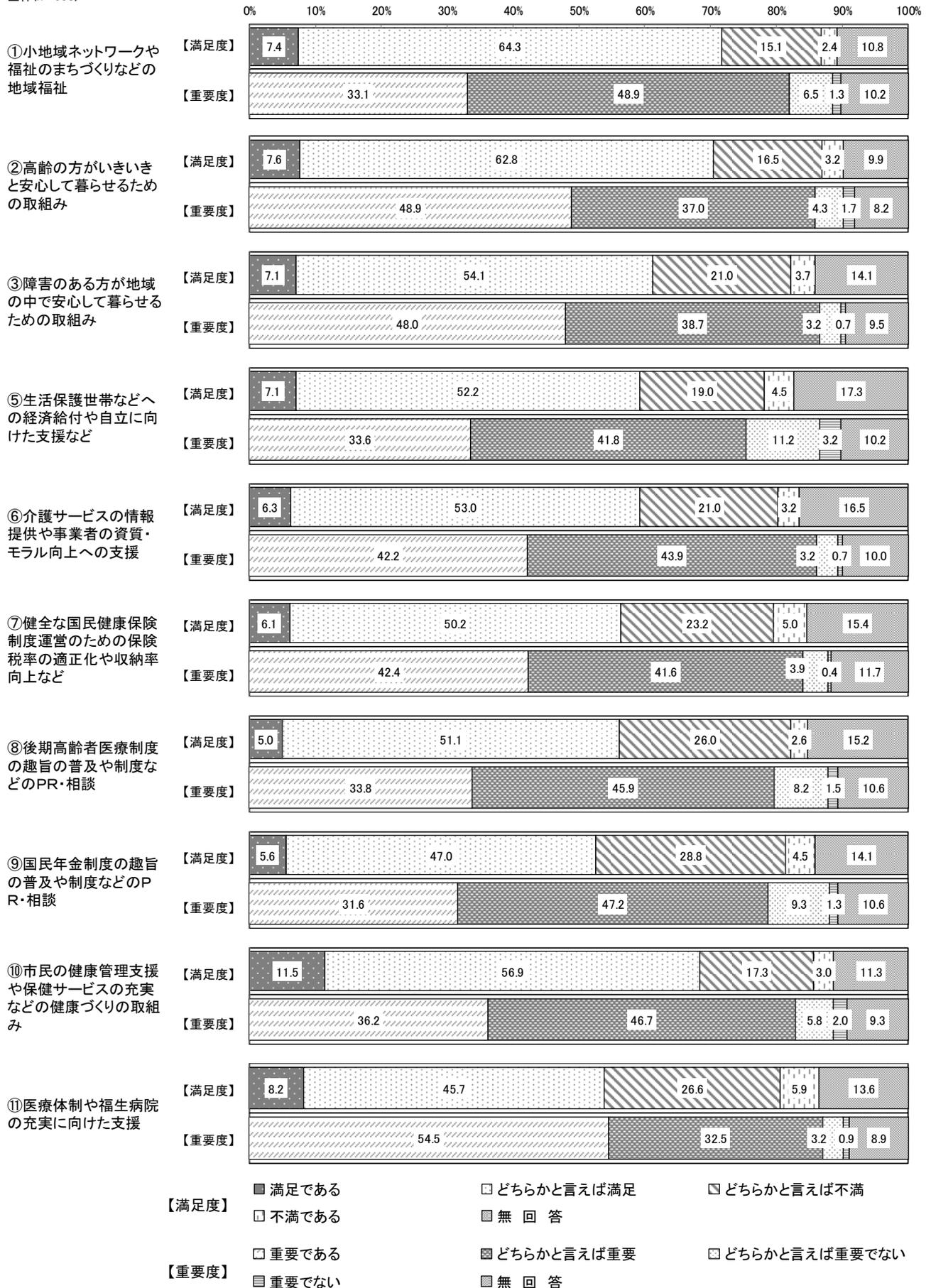
＜不満＞（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した方では、「⑨国民年金制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談」が33.3%、次いで「⑪医療体制や福生病院の充実に向けた支援」（32.5%）、「⑧後期高齢者医療制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談」（28.6%）となっています。

重要度

＜重要＞（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した方では、「⑪医療体制や福生病院の充実に向けた支援」が87.0%、次いで「③障害のある方が地域の中で安心して暮らせるための取組み」（86.7%）、「⑥介護サービスの情報提供や事業者の資質・モラル向上への支援」（86.1%）となっています。

＜重要でない＞（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した方では、「⑤生活保護世帯などへの経済給付や自立に向けた支援など」が14.4%、次いで「⑨国民年金制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談」（10.6%）、「⑧後期高齢者医療制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談」（9.7%）となっています。

問3 市の取組みに対する満足度・重要度(基本目標2:安心して暮らせる支えあいのまち)[%]
 全体(n= 538)



(3)基本目標3:ふれあいと活力のあふれるまち

「基本目標3：ふれあいと活力のあふれるまち」は【市民生活・産業の分野】の項目です。

満足度

＜満足＞（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した方では、「②④交通安全対策」が63.5%、次いで「④④町内会・自治会、市民団体、NPO法人などへの活動支援やコミュニティ施設整備」（63.4%）、「④⑤男女共同参画、人権の尊重、平和思想の主旨普及など共生社会を推進していく取組み」（60.4%）となっています。

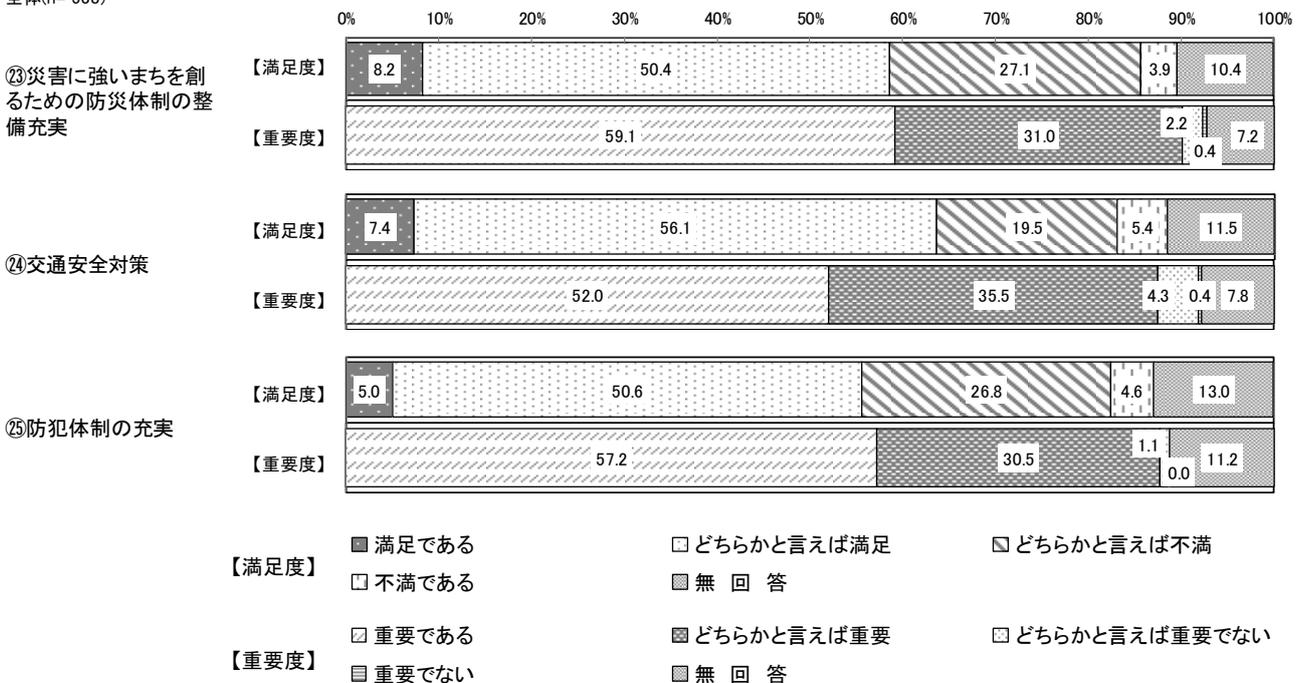
＜不満＞（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した方では、「②⑥横田基地の航空機騒音の解消や市民生活の安全確保」が61.7%、次いで「③⑦商業の活性化や魅力ある商業環境づくり」（39.4%）、「④①雇用機会の創出」（31.6%）となっています。

重要度

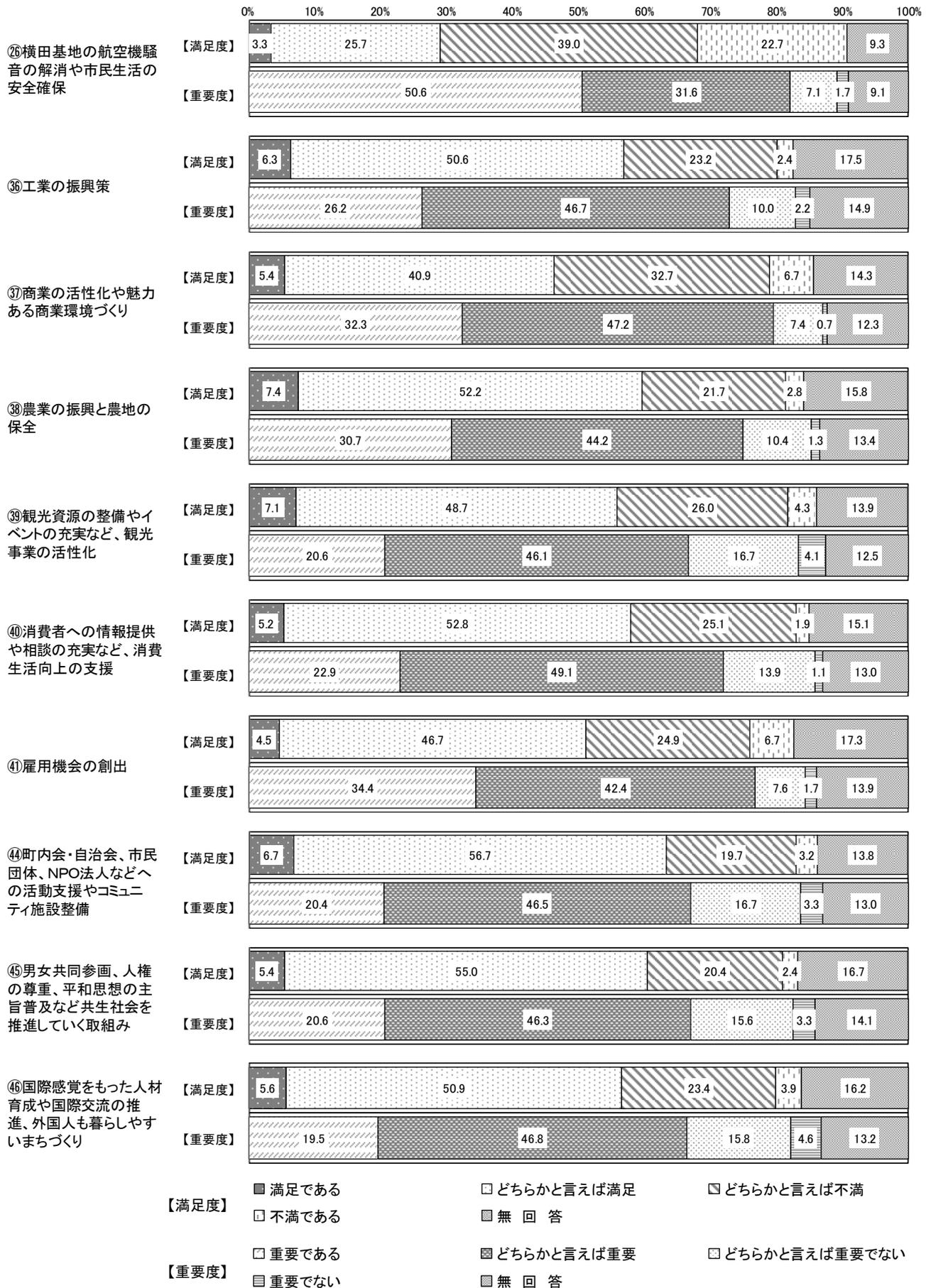
＜重要＞（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した方では、「②③災害に強いまちを創るための防災体制の整備充実」が90.1%、次いで「②⑤防犯体制の充実」（87.7%）、「②④交通安全対策」（87.5%）となっています。

＜重要でない＞（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した方では、「③⑨観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化」が20.8%、次いで「④⑥国際感覚をもった人材育成や国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり」（20.4%）、「④④町内会・自治会、市民団体、NPO法人などへの活動支援やコミュニティ施設整備」（20.0%）となっています。

問3 市の取組みに対する満足度・重要度(基本目標3:ふれあいと活力のあふれるまち)(%)
全体(n=538)



(続き)問3 市の取組みに対する満足度・重要度(基本目標3:ふれあいと活力のあふれるまち)[%]



(4)基本目標4:ひとと環境にやさしい安全で快適なまち

「基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまち」は【環境・都市整備の分野】の項目です。

満足度

＜満足＞（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した方では、「③羽村市独自（市単独）の水道事業」が83.1%、次いで「②水や緑などの自然環境の保全」（78.8%）、「④雨水管渠整備など、公共下水道の整備」（76.6%）となっています。

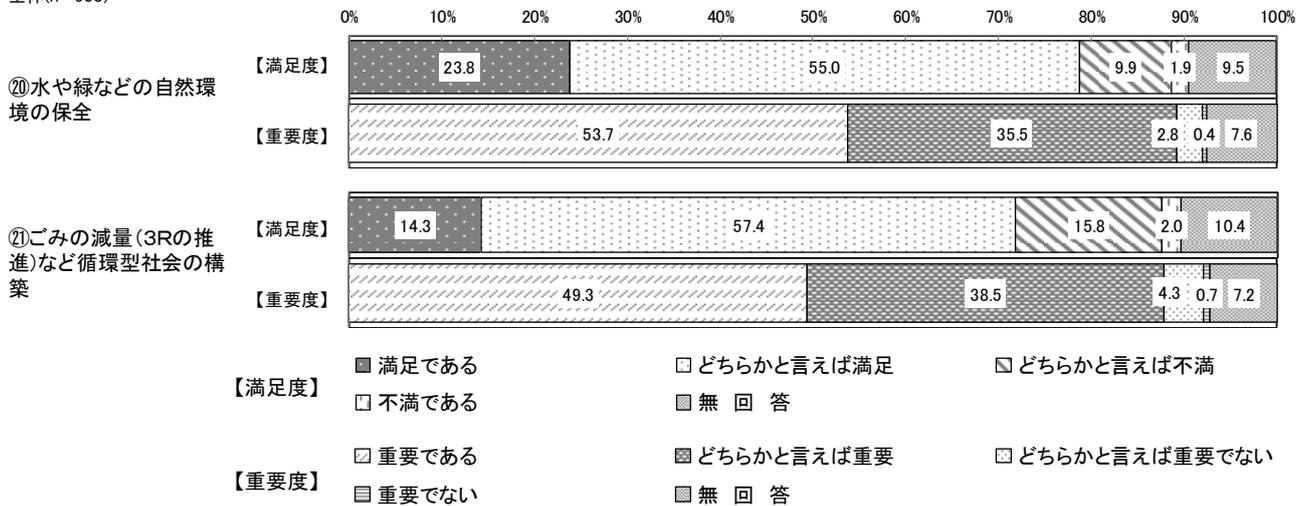
＜不満＞（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した方では、「⑨区画整理やバリアフリーのまちづくりなどの市街地整備」が47.5%、次いで「⑩道路の整備状況」（39.6%）、「⑧地域特性にあった土地利用」（37.0%）となっています。

重要度

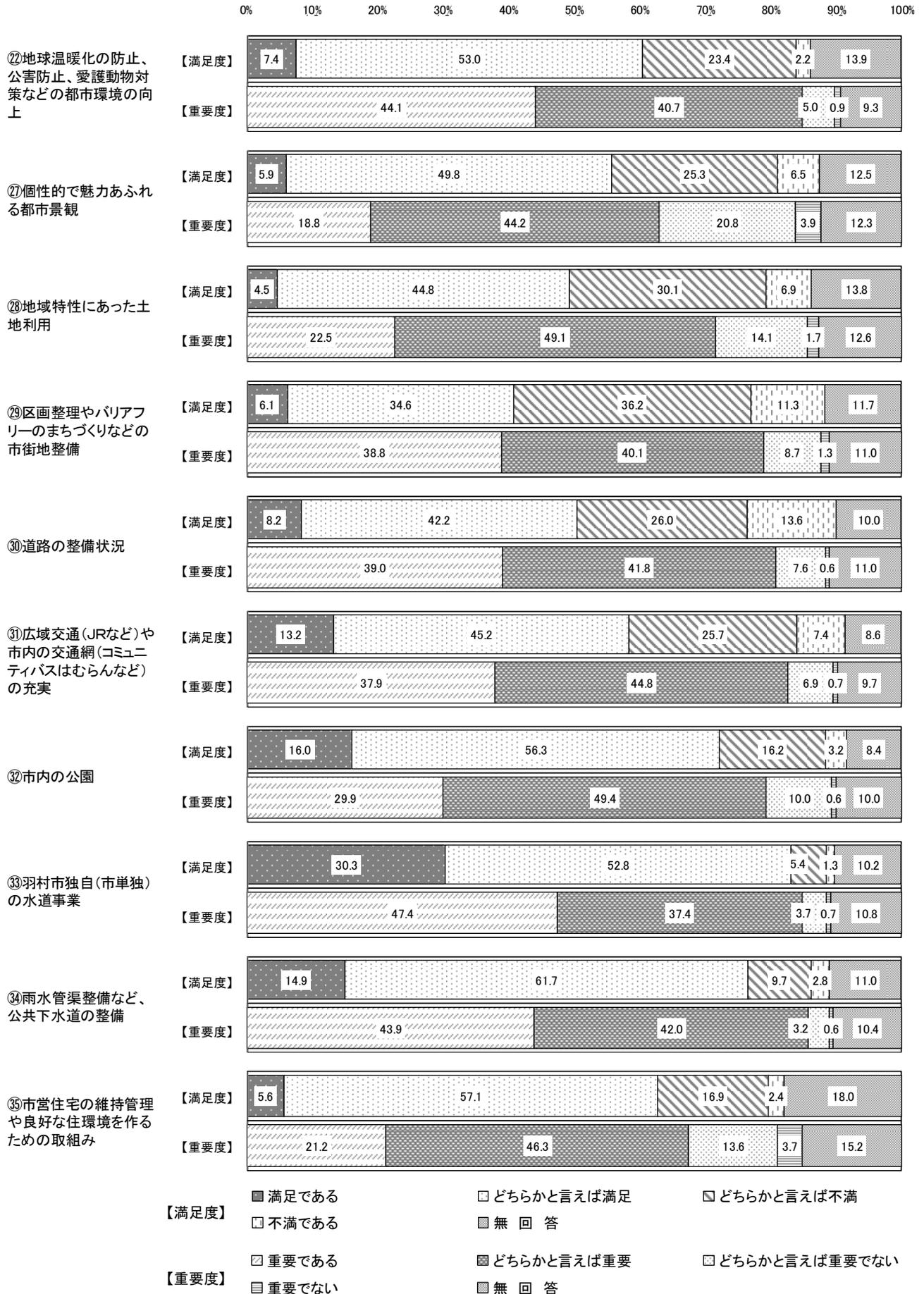
＜重要＞（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した方では、「②水や緑などの自然環境の保全」が89.2%、次いで「⑪ごみの減量（3Rの推進）など循環型社会の構築」（87.8%）、「④雨水管渠整備など、公共下水道の整備」（85.9%）となっています。

＜重要でない＞（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した方では、「⑦個人的で魅力あふれる都市景観」が24.7%、次いで「⑤市営住宅の維持管理や良好な住環境を作るための取組み」（17.3%）、「⑧地域特性にあった土地利用」（15.8%）となっています。

問3 市の取組みに対する満足度・重要度(基本目標4:ひとと環境にやさしい安全で快適なまち) [%]
全体(n= 538)



(続き)問3 市の取組みに対する満足度・重要度(基本目標4:ひとと環境にやさしい安全で快適なまち)[%]



(5) 基本構想を推進するために

満足度

＜満足＞（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した方では、「⑤⑩羽村市役所等、羽村市の公共施設職員の窓口対応」が71.0%、次いで「④③わかりやすい広報や市民の声を市政に生かす広聴活動」（64.7%）、「④⑧窓口業務の拡大、広域行政の推進など、効率的な行政運営」（60.7%）となっています。

＜不満＞（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した方では、「④⑨長期的展望に立った財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営」が35.2%、次いで「④⑦電子自治体構築などの行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護」（29.0%）、「④②市民参画・協働の機会拡大や市政情報の提供・公開など、市民と行政が連携したまちづくり」（24.9%）となっています。

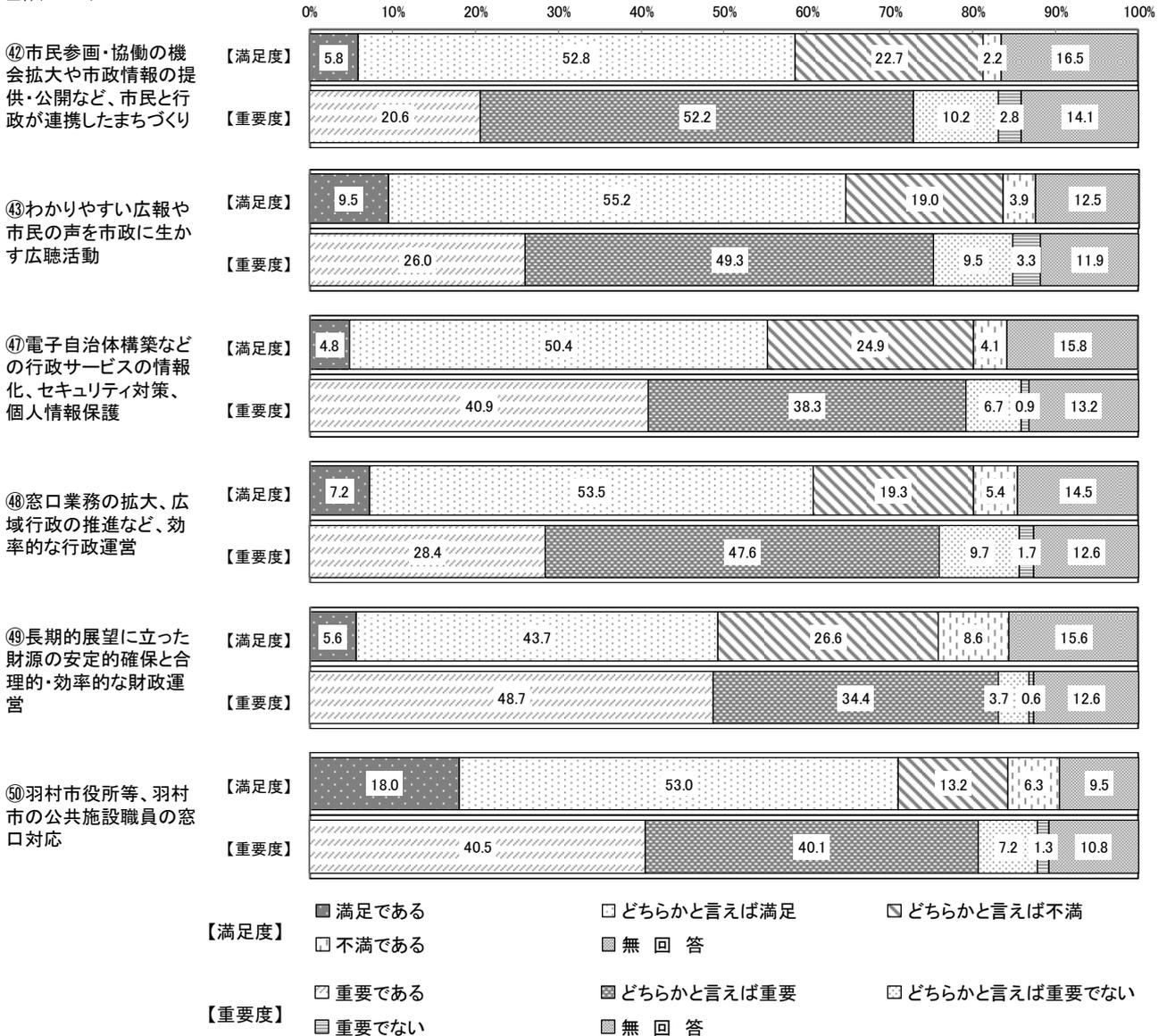
重要度

＜重要＞（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した方では、「④⑨長期的展望に立った財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営」が83.1%、次いで「⑤⑩羽村市役所等、羽村市の公共施設職員の窓口対応」（80.6%）、「④⑦電子自治体構築などの行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護」（79.2%）となっています。

＜重要でない＞（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した方では、「④②市民参画・協働の機会拡大や市政情報の提供・公開など、市民と行政が連携したまちづくり」が13.0%、次いで「④③わかりやすい広報や市民の声を市政に生かす広聴活動」（12.8%）、「④⑧窓口業務の拡大、広域行政の推進など、効率的な行政運営」（11.4%）となっています。

問3 市の取組みに対する満足度・重要度(基本構想を推進するために) [%]

全体(n= 538)



(6) 満足度と重要度から見たゾーニング分析

各項目を相対的に評価するため、満足度を横軸に、重要度を縦軸にとり、各基本目標の施策の平均値を境として4つのゾーンに分け、各項目を分類しました。

① 満足度、重要度それぞれの得点の与え方は以下のとおりです。

選択肢		得点
満足度	重要度	
「満足である」	「重要である」	4
「どちらかと言えば満足」	「どちらかと言えば重要」	3
「どちらかと言えば不満」	「どちらかと言えば重要でない」	2
「不満である」	「重要でない」	1

② 以上の得点を用いて、「4」から「1」の回答者をベースに加重平均値を計算しました。

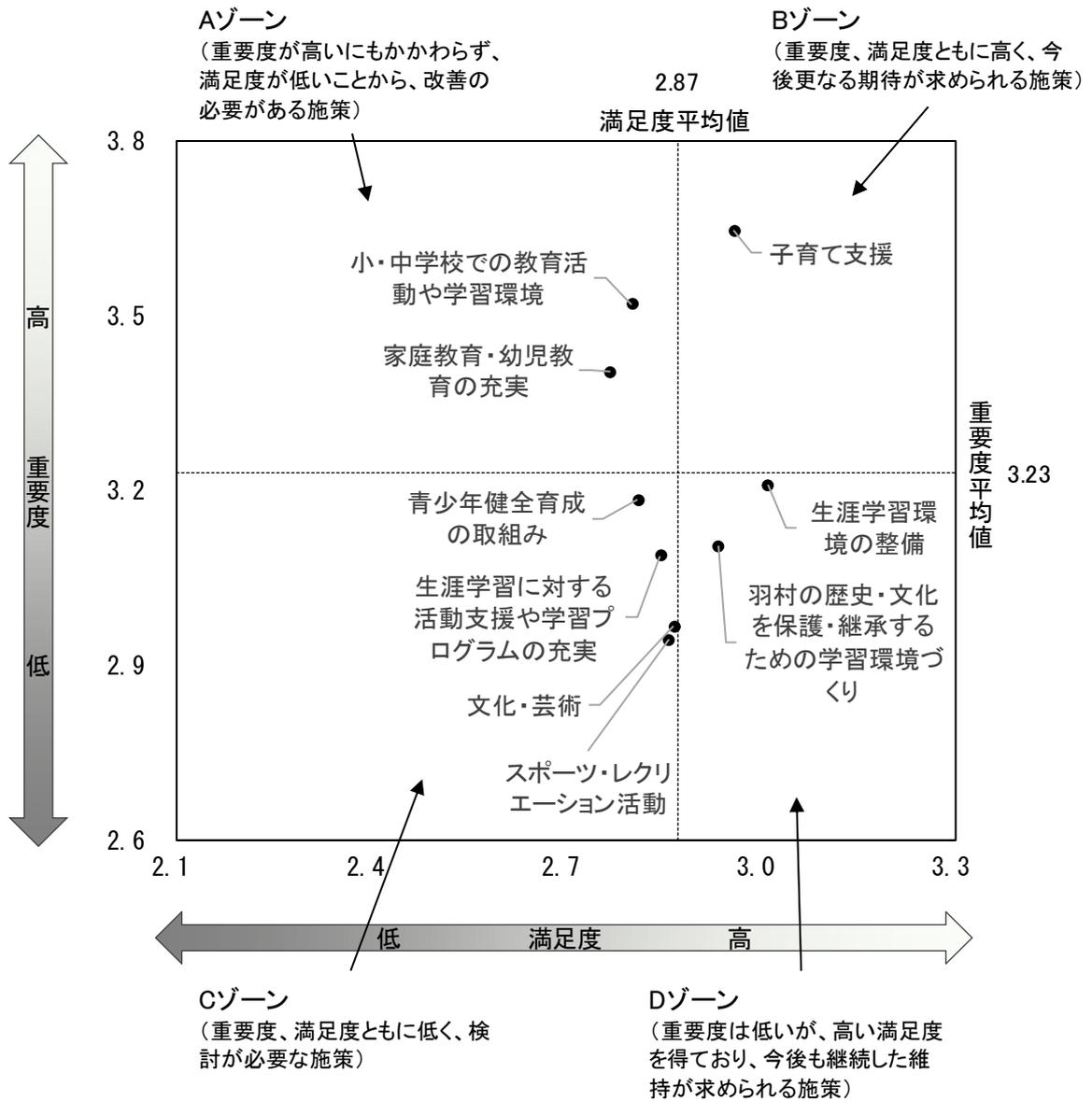
$$\text{満足度} = \frac{4 \times \text{「満足である」の人数} + 3 \times \text{「どちらかと言えば満足」の人数} + 2 \times \text{「どちらかと言えば不満」の人数} + 1 \times \text{「不満である」の人数}}{\text{「無回答」を除く有効回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{4 \times \text{「重要である」の人数} + 3 \times \text{「どちらかと言えば重要」の人数} + 2 \times \text{「どちらかと言えば重要でない」の人数} + 1 \times \text{「重要でない」の人数}}{\text{「無回答」を除く有効回答数}}$$

③ 4つのゾーンの特性は以下のとおりです。

各ゾーンの特性	
Aゾーン	Bゾーン
【重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目】 重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策	【重要度、満足度ともに平均値より高い項目】 重要度、満足度ともに高く、今後更なる期待が求められる施策
Cゾーン	Dゾーン
【重要度、満足度ともに平均値より低い項目】 重要度、満足度ともに低く、検討が必要な施策	【重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目】 重要度は低いが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策

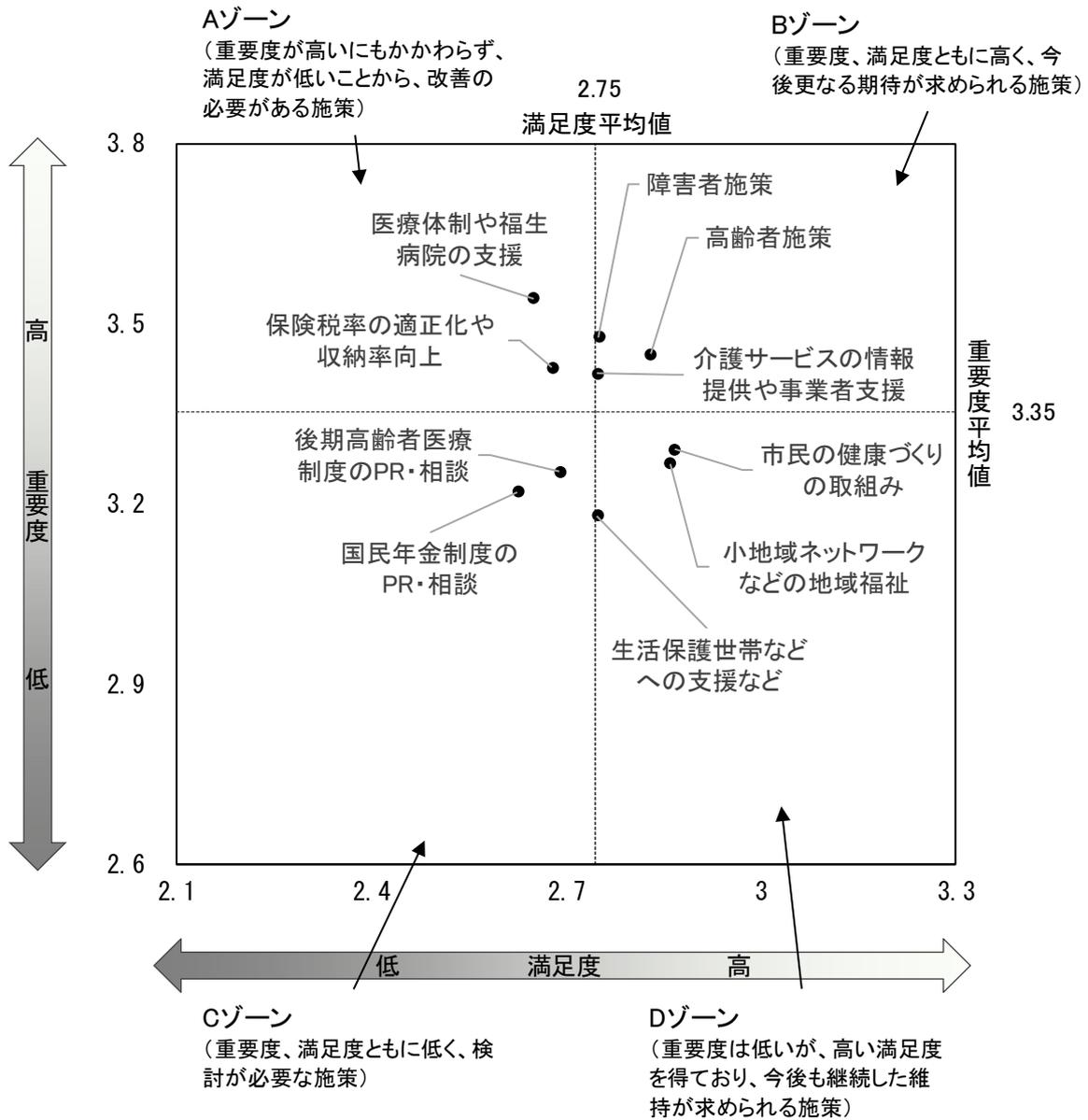
(6)-①【ゾーニング分析】基本目標1:生涯を通じて学び育つまち



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	家庭教育・幼児教育の充実	2.77	3.40
	小・中学校での教育活動や学習環境	2.80	3.52
Bゾーン	子育て支援	2.96	3.65
Cゾーン	青少年健全育成の取組み	2.81	3.18
	生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	2.85	3.09
	文化・芸術	2.87	2.97
	スポーツ・レクリエーション活動	2.86	2.94
Dゾーン	生涯学習環境の整備	3.01	3.21
	羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	2.93	3.10
平均値		2.87	3.23

※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

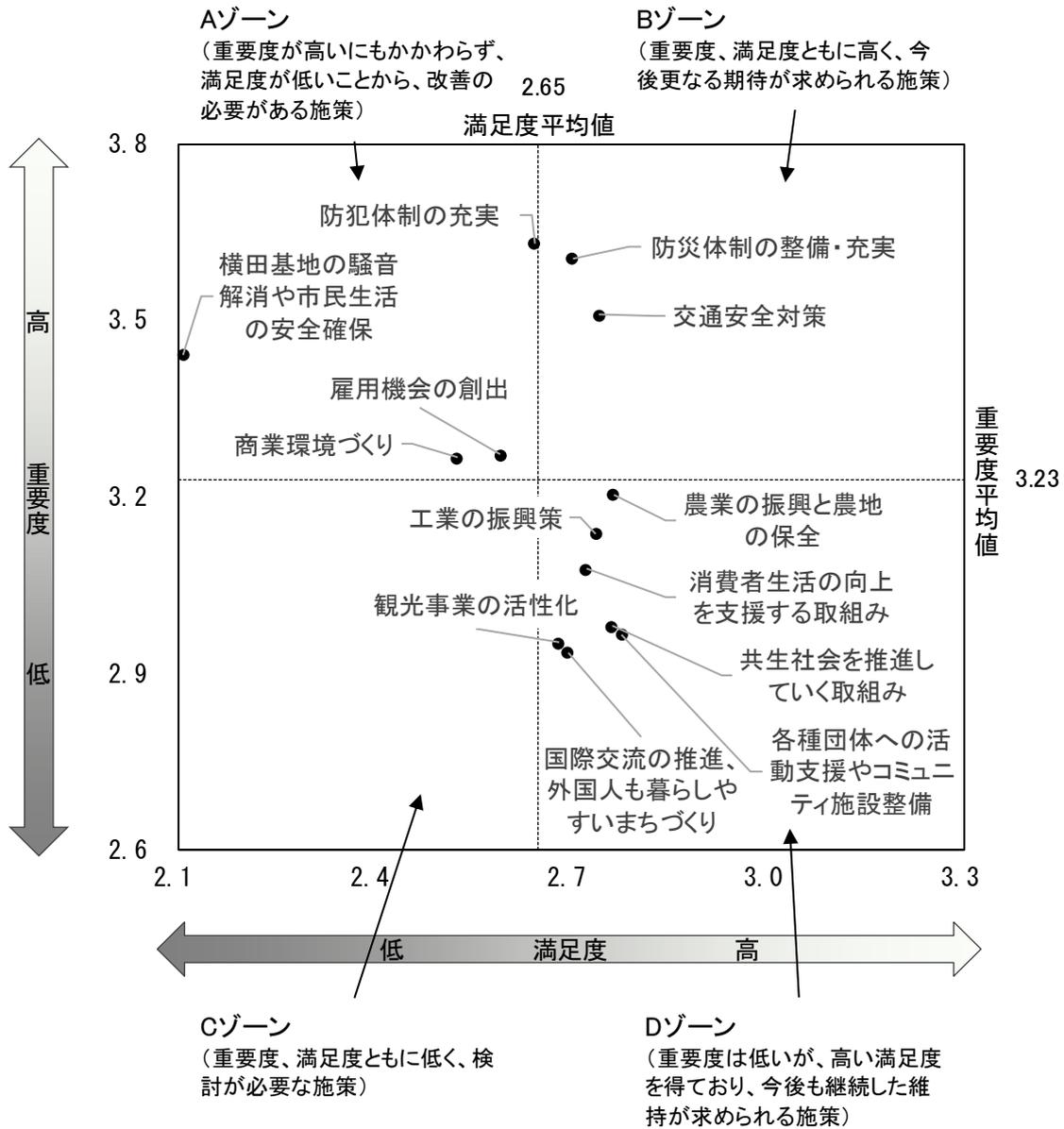
(6)-②【ゾーニング分析】基本目標2:安心して暮らせる支えあいのまち



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	保険税率の適正化や収納率向上	2.68	3.43
	医療体制や福生病院の支援	2.65	3.54
Bゾーン	高齢の方がいきいきと安心して暮らせるための取組み(高齢者施策)	2.83	3.45
	障害のある方が地域の中で安心して暮らせるための取組み(障害者施策)	2.75	3.48
	介護サービスの情報提供や事業者支援	2.75	3.42
Cゾーン	後期高齢者医療制度のPR・相談	2.69	3.25
	国民年金制度のPR・相談	2.63	3.22
Dゾーン	小地域ネットワークなどの地域福祉	2.86	3.27
	生活保護世帯などへの支援など	2.75	3.18
	市民の健康づくりの取組み	2.87	3.29
平均値		2.75	3.35

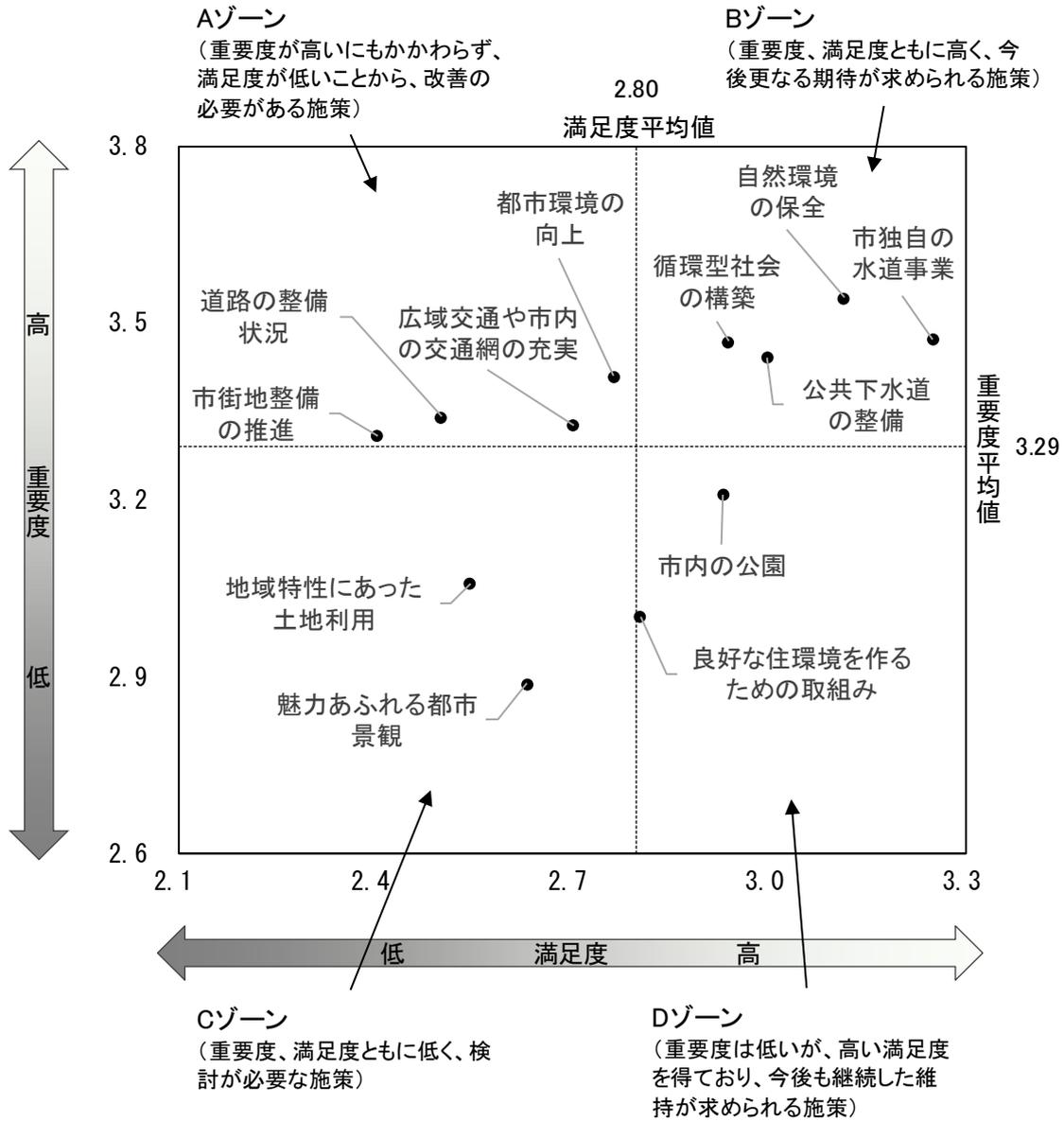
※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

(6)-③【ゾーニング分析】基本目標3:ふれあいと活力のあふれるまち



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	防犯体制の充実	2.64	3.63
	横田基地の騒音解消や市民生活の安全確保	2.11	3.44
	商業環境づくり	2.52	3.27
	雇用機会の創出	2.59	3.27
Bゾーン	防災体制の整備・充実	2.70	3.61
	交通安全対策	2.74	3.51
Dゾーン	工業の振興策	2.74	3.14
	農業の振興と農地の保全	2.76	3.20
	観光事業の活性化	2.68	2.95
	消費者生活の向上を支援する取組み	2.72	3.08
	各種団体への活動支援やコミュニティ施設整備	2.78	2.97
	共生社会を推進していく取組み	2.76	2.98
	国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	2.69	2.94
平均値		2.65	3.23

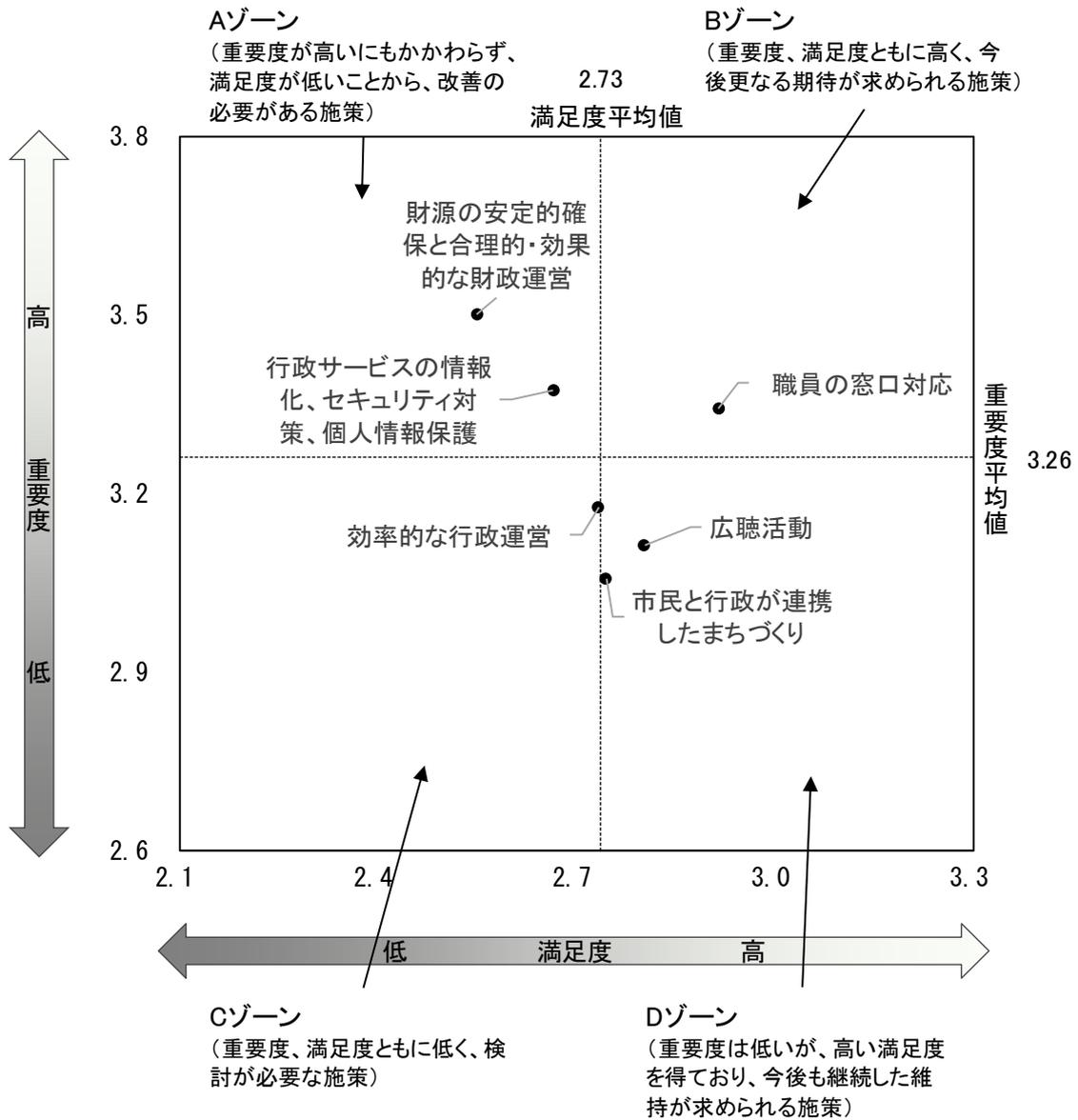
(6)-④【ゾーニング分析】基本目標4:ひとと環境にやさしい安全で快適なまち



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	都市環境の向上	2.76	3.41
	市街地整備の推進	2.40	3.31
	道路の整備状況	2.50	3.34
	広域交通や市内の交通網の充実	2.70	3.33
Bゾーン	自然環境の保全	3.11	3.54
	循環型社会の構築	2.94	3.47
	市独自の水道事業	3.25	3.47
	公共下水道の整備	3.00	3.44
Cゾーン	魅力あふれる都市景観	2.63	2.89
	地域特性にあった土地利用	2.54	3.06
Dゾーン	良好な住環境を作るための取組み	2.93	3.21
	市内の公園	2.80	3.00
平均値		2.80	3.29

※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

(6)-⑤【ゾーニング分析】基本構想を推進するために



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	2.66	3.37
	財源の安定的確保と合理的・効果的な財政運営	2.55	3.50
Bゾーン	職員の窓口対応	2.91	3.34
Cゾーン	効率的な行政運営	2.73	3.18
Dゾーン	市民と行政が連携したまちづくり	2.74	3.06
	広聴活動	2.80	3.11
平均値		2.73	3.26

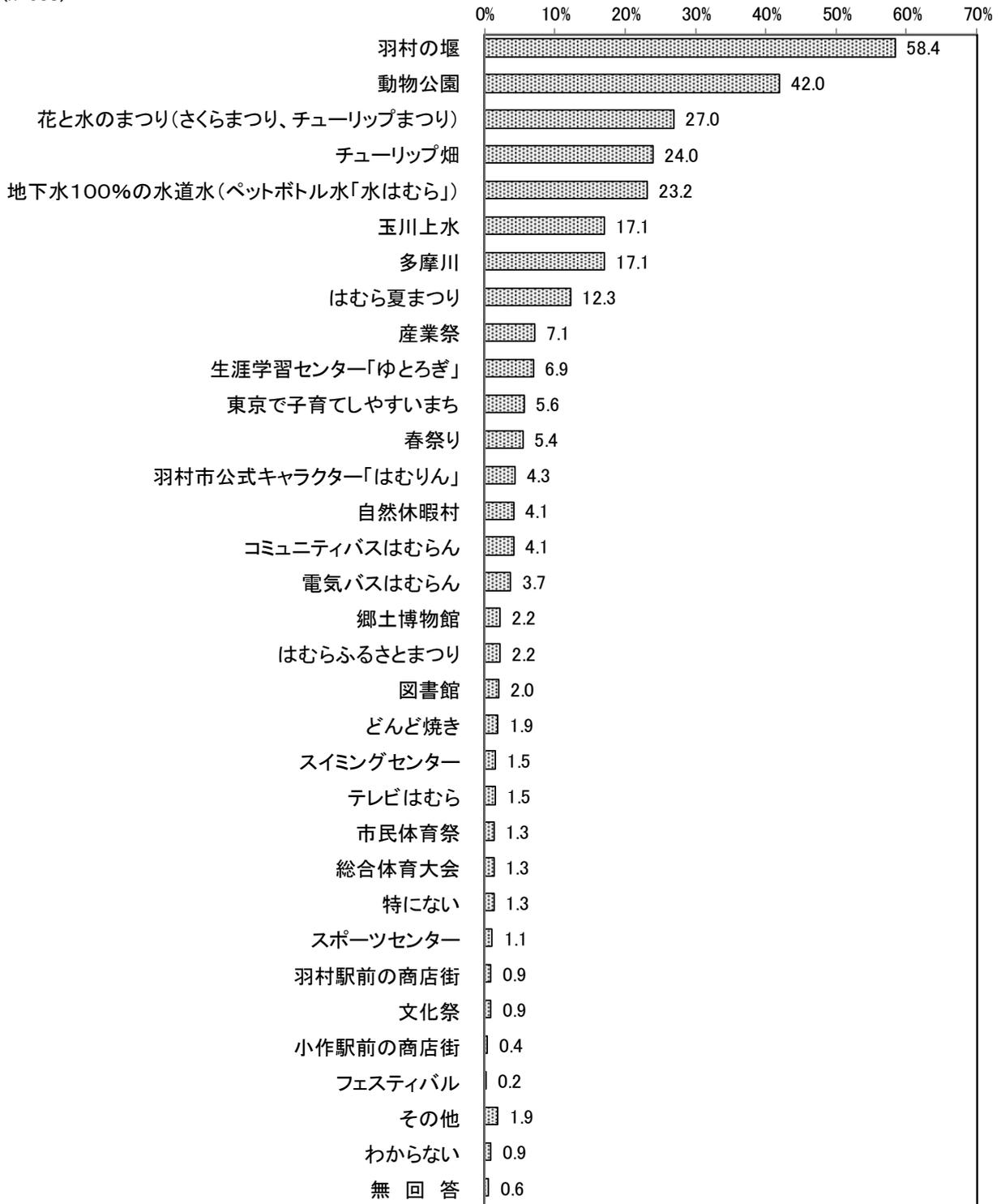
※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

3. 羽村市の魅力・羽村らしさ

(1) 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事

全体では、「羽村の堰」が 58.4%、次いで「動物公園」(42.0%)、「花と水のまつり(さくらまつり、チューリップまつり)」(27.0%) となっています。

問4 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
市民プール・水上公園	2
お花を大事に育て、楽しむ姿	1
根がらみ前水田の緑、農業に対する姿勢	1
住みやすさ	1
日野自動車	1
東口の地盤の良さ	1
町内会の展示や催し、坂が多い	1
その他	2

上位 10 項目について過去の調査と比較すると、「羽村の堰」と「チューリップ畑」が前々回よりやや高くなっています。また「動物公園」が前々回よりとても高くなっています。

	羽村の堰	動物公園	花と水のまつり(さくらまつり、チューリップまつり)	チューリップ畑	地下水100%の水道水(ペットボトル水「水はむら」)	玉川上水	多摩川	はむら夏まつり	産業祭	生涯学習センター「ゆとろぎ」
今回(R2)	58.4	42.0	27.0	24.0	23.2	17.1	17.1	12.3	7.1	6.9
前回(H27)	57.9	40.3	27.0	19.7	22.6	20.7	19.9	18.1	7.5	9.1
前々回(H22)	48.1	18.9	31.3	9.4	15.2	18.3	10.0	9.1	7.6	3.3

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

性・年代別で見ると、男性 50 歳代で「羽村の堰」(87.1%) が全体よりとて高くなっています。

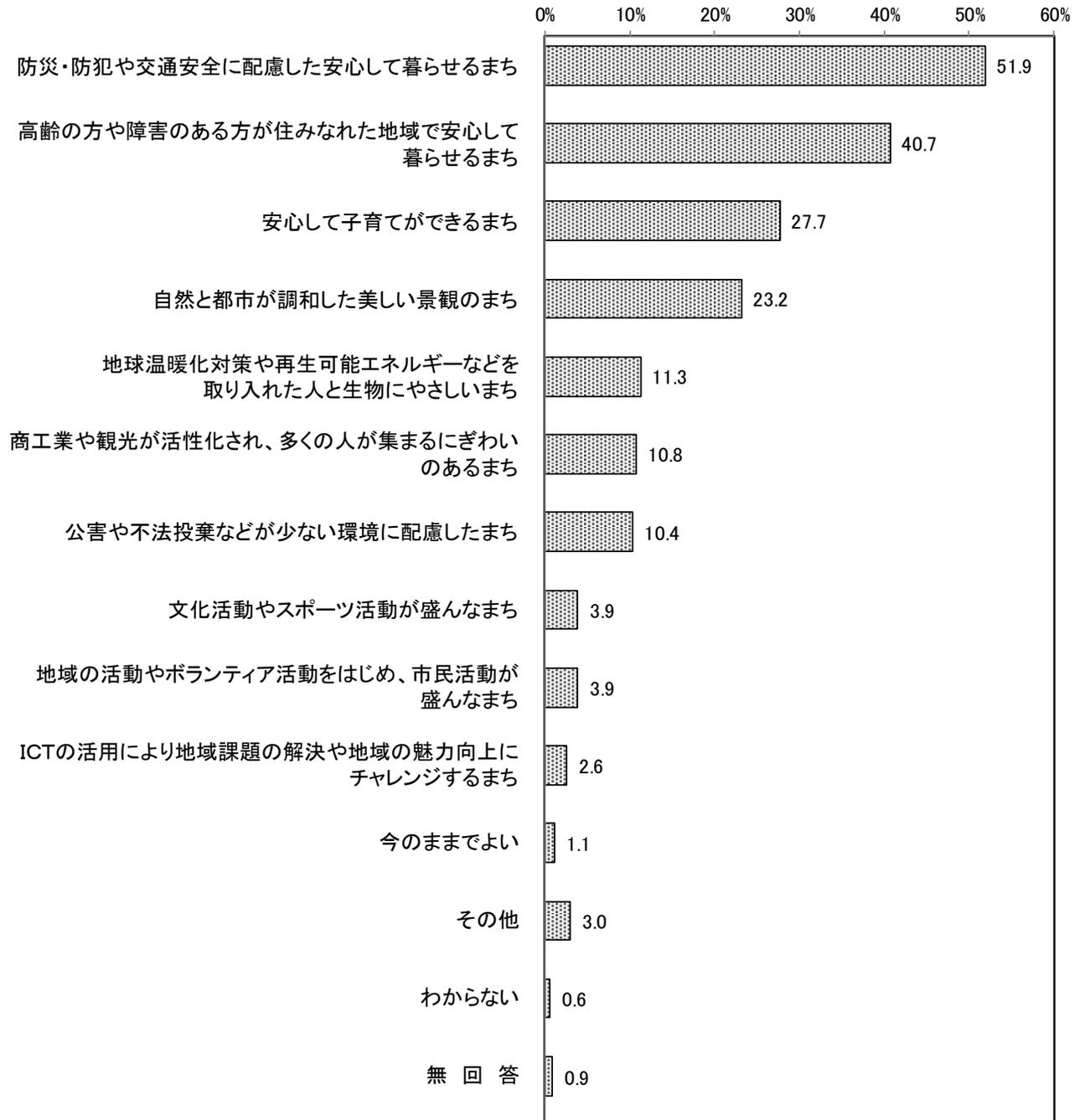
居住地区で見ると、羽加美で「花と水のまつり (さくらまつり、チューリップまつり)」(42.2%) が全体より高くなっています。

		問4 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事										
		n	羽村の堰	動物公園	花と水のまつり (さくらまつり、チューリップまつり)	チューリップ畑	地下水100%の水道水 (ペットボトル水「水はむら」)	玉川上水	多摩川	はむら夏まつり	産業祭	生涯学習センター「ゆとろぎ」
全体		538	58.4	42.0	27.0	24.0	23.2	17.1	17.1	12.3	7.1	6.9
性別	男	210	62.9	38.1	24.3	17.6	21.0	16.2	21.0	12.4	7.1	6.7
	女	315	54.9	45.1	28.9	28.3	25.1	18.1	14.9	12.1	6.7	7.0
性・年代別	男・20歳未満	2	50.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	☆ 50.0	0.0	☆ 50.0
	男・20歳代	17	□ 70.6	■ 29.4	● 11.8	■ 11.8	■ 11.8	23.5	□ 29.4	17.6	0.0	5.9
	男・30歳代	22	★ 36.4	45.5	27.3	18.2	□ 36.4	13.6	22.7	13.6	9.1	9.1
	男・40歳代	49	57.1	34.7	26.5	18.4	22.4	20.4	12.2	16.3	4.1	4.1
	男・50歳代	31	☆ 87.1	45.2	○ 45.2	16.1	19.4	9.7	■ 6.5	19.4	3.2	3.2
	男・60歳代	40	65.0	42.5	17.5	17.5	17.5	10.0	○ 32.5	5.0	15.0	7.5
	男・70歳以上	49	61.2	■ 30.6	18.4	20.4	20.4	20.4	26.5	6.1	8.2	8.2
	女・20歳未満	3	66.7	☆ 66.7	33.3	★ 0.0	□ 33.3	○ 33.3	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	★ 33.3	42.9	23.8	○ 42.9	□ 33.3	14.3	■ 4.8	☆ 33.3	0.0	4.8
	女・30歳代	35	57.1	45.7	34.3	□ 34.3	22.9	25.7	14.3	5.7	5.7	14.3
	女・40歳代	62	51.6	□ 53.2	□ 37.1	32.3	■ 11.3	12.9	17.7	12.9	4.8	6.5
	女・50歳代	73	56.2	47.9	31.5	□ 34.2	20.5	15.1	12.3	19.2	6.8	5.5
	女・60歳代	60	65.0	45.0	25.0	21.7	□ 33.3	20.0	18.3	5.0	6.7	6.7
	女・70歳以上	61	52.5	32.8	19.7	16.4	□ 34.4	21.3	16.4	6.6	11.5	6.6
居住地区	神明台	78	56.4	48.7	29.5	15.4	28.2	15.4	19.2	10.3	9.0	6.4
	双葉町	26	50.0	☆ 76.9	● 11.5	□ 38.5	26.9	11.5	7.7	3.8	3.8	7.7
	五ノ神	39	53.8	43.6	20.5	23.1	23.1	7.7	15.4	□ 25.6	5.1	7.7
	富士見平・羽4000番台	39	59.0	46.2	23.1	25.6	20.5	7.7	10.3	12.8	10.3	10.3
	緑ヶ丘	73	58.9	45.2	■ 13.7	27.4	23.3	13.7	17.8	17.8	13.7	5.5
	栄町	42	□ 69.0	35.7	33.3	16.7	■ 9.5	23.8	14.3	19.0	4.8	2.4
	小作台	62	■ 45.2	48.4	24.2	29.0	30.6	11.3	16.1	11.3	4.8	8.1
	羽西	20	60.0	■ 30.0	25.0	20.0	30.0	25.0	25.0	10.0	5.0	0.0
	羽加美	45	51.1	35.6	○ 42.2	26.7	22.2	20.0	26.7	8.9	6.7	6.7
	羽中	38	□ 68.4	■ 31.6	□ 39.5	21.1	23.7	26.3	15.8	2.6	2.6	7.9
	羽東	27	○ 74.1	33.3	□ 40.7	■ 11.1	14.8	25.9	14.8	7.4	3.7	7.4
川崎	23	□ 69.6	● 26.1	■ 13.0	30.4	21.7	□ 30.4	21.7	13.0	0.0	8.7	
玉川・羽600～700番台	12	○ 75.0	★ 16.7	□ 41.7	25.0	25.0	25.0	16.7	■ 0.0	8.3	16.7	
定住意向	ずっと住み続けたい	270	64.4	39.6	28.5	23.7	23.0	17.4	18.9	9.3	7.4	5.9
	当分の間住みたい	220	53.2	45.0	26.8	24.1	20.9	16.4	15.5	16.8	6.4	8.2
	できれば転出したい	29	● 41.4	34.5	● 10.3	20.7	☆ 51.7	□ 27.6	17.2	3.4	10.3	3.4
	転出する	7	★ 28.6	☆ 85.7	■ 14.3	○ 42.9	14.3	14.3	14.3	○ 28.6	14.3	14.3

(2) 希望する将来の市のまちづくり

全体では、「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」が 51.9%、次いで「高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」(40.7%)、「安心して子育てができるまち」(27.7%) となっています。

問5 希望する将来の市のまちづくり[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
皆がお互いを大切にして安心して暮らせるまち	3
障害者福祉や子育て支援に厚いまち	2
交通の便が良く賑わいのあるまち	1
企業誘致など雇用機会増大	1
治安のいいまち	1
納税者にやさしいまち	1
財政の安定したまち	1
お花のまち	1
防災無線の廃止、花を植えるための市税投入を廃止	1
区画整理不要	1
市民プール再開	1
その他	2

上位 10 項目について過去の調査と比較すると、今回新しく設定した選択肢（「ICTの活用により地域課題の解決や地域の魅力向上にチャレンジするまち」）は、回答率が 10%以下でした。その他の選択肢は、いずれも大きな変化は見られません。

	防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち	高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち	安心して子育てができるまち	自然と都市が調和した美しい景観のまち(※1)	地球温暖化対策や再生可能エネルギーなどを取り入れた人と生物にやさしいまち	商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち	公害や不法投棄などが少ない環境に配慮したまち(※2)	文化活動やスポーツ活動が盛んなまち	地域の活動やボランティア活動をはじめ、市民活動が盛んなまち	ICTの活用により地域課題の解決や地域の魅力向上にチャレンジするまち
今回(R2)	51.9	40.7	27.7	23.2	11.3	10.8	10.4	3.9	3.9	2.6
前回(H27)	47.3	45.8	27.8	23.7	9.5	12.5	9.5	6.4	7.7	-
前々回(H22)	43.3	44.7	32.2	33.1	-	9.4	15.2	4.6	4.8	-

※1 前々回の選択肢は「緑豊かな美しい景観のまち」

※2 前々回の選択肢は「公害がなく、ごみ減量・リサイクル化が進んだ環境に配慮したまち」

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「安心して子育てができるまち」(54.3%) がとても高くなっています。

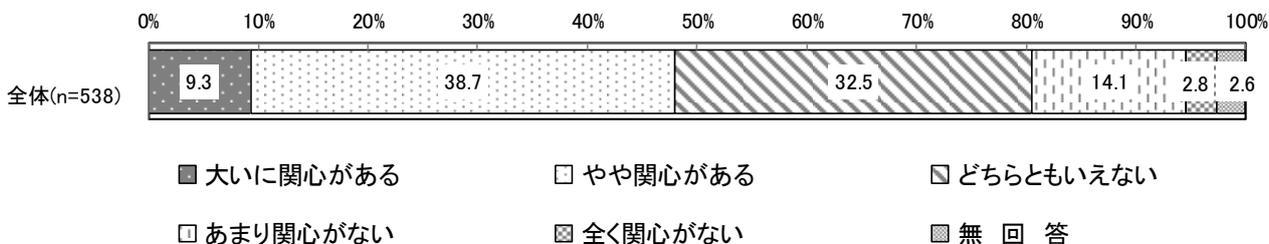
	n	問5 希望する将来の市のまちづくり									
		防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち	高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち	安心して子育てができるまち	自然と都市が調和した美しい景観のまち	地球温暖化対策や再生可能エネルギーなどを取り入れた人と生物にやさしいまち	商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち	公害や不法投棄などが少ない環境に配慮したまち	文化活動やスポーツ活動が盛んなまち	地域の活動やボランティア活動をはじめ、市民活動が盛んなまち	ICTの活用により地域課題の解決や地域の魅力向上にチャレンジするまち
全体	538	51.9	40.7	27.7	23.2	11.3	10.8	10.4	3.9	3.9	2.6
性別											
男	210	51.9	33.8	27.6	29.5	9.5	11.9	8.6	5.2	2.9	2.4
女	315	51.4	45.4	27.9	19.4	12.7	10.5	11.7	2.5	4.1	2.9
性・年代別											
男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	17	■ 41.2	★ 11.8	29.4	☆ 47.1	11.8	17.6	5.9	11.8	0.0	11.8
男・30歳代	22	○ 68.2	★ 4.5	☆ 54.5	31.8	9.1	13.6	13.6	4.5	0.0	0.0
男・40歳代	49	53.1	● 24.5	34.7	22.4	14.3	□ 22.4	10.2	6.1	2.0	0.0
男・50歳代	31	51.6	32.3	19.4	32.3	■ 0.0	9.7	12.9	3.2	3.2	6.5
男・60歳代	40	60.0	45.0	20.0	27.5	10.0	7.5	10.0	2.5	2.5	0.0
男・70歳以上	49	42.9	○ 57.1	20.4	30.6	10.2	4.1	2.0	6.1	6.1	2.0
女・20歳未満	3	● 33.3	33.3	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 33.3	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
女・20歳代	21	47.6	■ 28.6	☆ 57.1	23.8	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0
女・30歳代	35	48.6	● 25.7	☆ 54.3	22.9	11.4	8.6	11.4	2.9	2.9	5.7
女・40歳代	62	56.5	35.5	□ 38.7	16.1	14.5	9.7	8.1	4.8	1.6	3.2
女・50歳代	73	52.1	43.8	23.3	24.7	12.3	13.7	8.2	2.7	2.7	4.1
女・60歳代	60	■ 38.3	☆ 65.0	■ 16.7	20.0	11.7	13.3	16.7	1.7	6.7	1.7
女・70歳以上	61	□ 62.3	○ 55.7	★ 4.9	■ 13.1	13.1	8.2	16.4	1.6	8.2	1.6
居住地区											
神明台	78	44.9	35.9	32.1	17.9	14.1	11.5	14.1	7.7	3.8	2.6
双葉町	26	61.5	46.2	30.8	15.4	■ 0.0	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7
五ノ神	39	□ 64.1	30.8	25.6	25.6	2.6	7.7	15.4	0.0	7.7	2.6
富士見平・羽4000番台	39	51.3	□ 53.8	20.5	17.9	10.3	7.7	15.4	2.6	2.6	0.0
緑ヶ丘	73	46.6	42.5	21.9	30.1	15.1	12.3	8.2	0.0	2.7	2.7
栄町	42	□ 64.3	42.9	28.6	14.3	7.1	7.1	11.9	2.4	7.1	2.4
小作台	62	54.8	45.2	30.6	17.7	11.3	6.5	8.1	6.5	3.2	3.2
羽西	20	■ 40.0	50.0	■ 15.0	25.0	20.0	10.0	15.0	10.0	0.0	0.0
羽加美	45	57.8	37.8	□ 40.0	15.6	8.9	11.1	6.7	6.7	2.2	0.0
羽中	38	50.0	34.2	23.7	□ 36.8	15.8	18.4	7.9	0.0	2.6	5.3
羽東	27	● 33.3	44.4	22.2	□ 33.3	18.5	□ 22.2	■ 0.0	7.4	3.7	7.4
川崎	23	52.2	● 21.7	☆ 52.2	☆ 43.5	4.3	8.7	13.0	0.0	0.0	0.0
玉川・羽600～700番台	12	58.3	41.7	■ 16.7	16.7	□ 25.0	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0
定住意向											
ずっと住み続けたい	270	50.7	46.3	24.8	24.8	11.9	10.7	7.4	4.8	5.2	2.2
当分の間住みたい	220	54.5	35.0	33.6	21.8	10.0	11.4	14.1	3.2	2.3	2.7
できれば転出したい	29	48.3	34.5	★ 6.9	24.1	13.8	13.8	13.8	0.0	3.4	3.4
転出する	7	57.1	■ 28.6	○ 42.9	28.6	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	□ 14.3	0.0	0.0

4. 市政への関心度

(1) 市政への関心度

全体では、＜関心がある＞（「大いに関心がある」＋「やや関心がある」）が 48.0%、次いで「どちらともいえない」（32.5%）、＜関心がない＞（「あまり関心がない」＋「全く関心がない」）（16.9%）となっています。

問6 市政への関心度[%]



過去の調査と比較すると、「どちらともいえない」が前々回よりやや高くなっています。

	大いに関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	全く関心がない
今回(R2)	9.3	38.7	32.5	14.1	2.8
前回(H27)	18.5	39.8	23.4	14.1	2.3
前々回(H22)	18.1	40.3	20.9	15.5	3.5

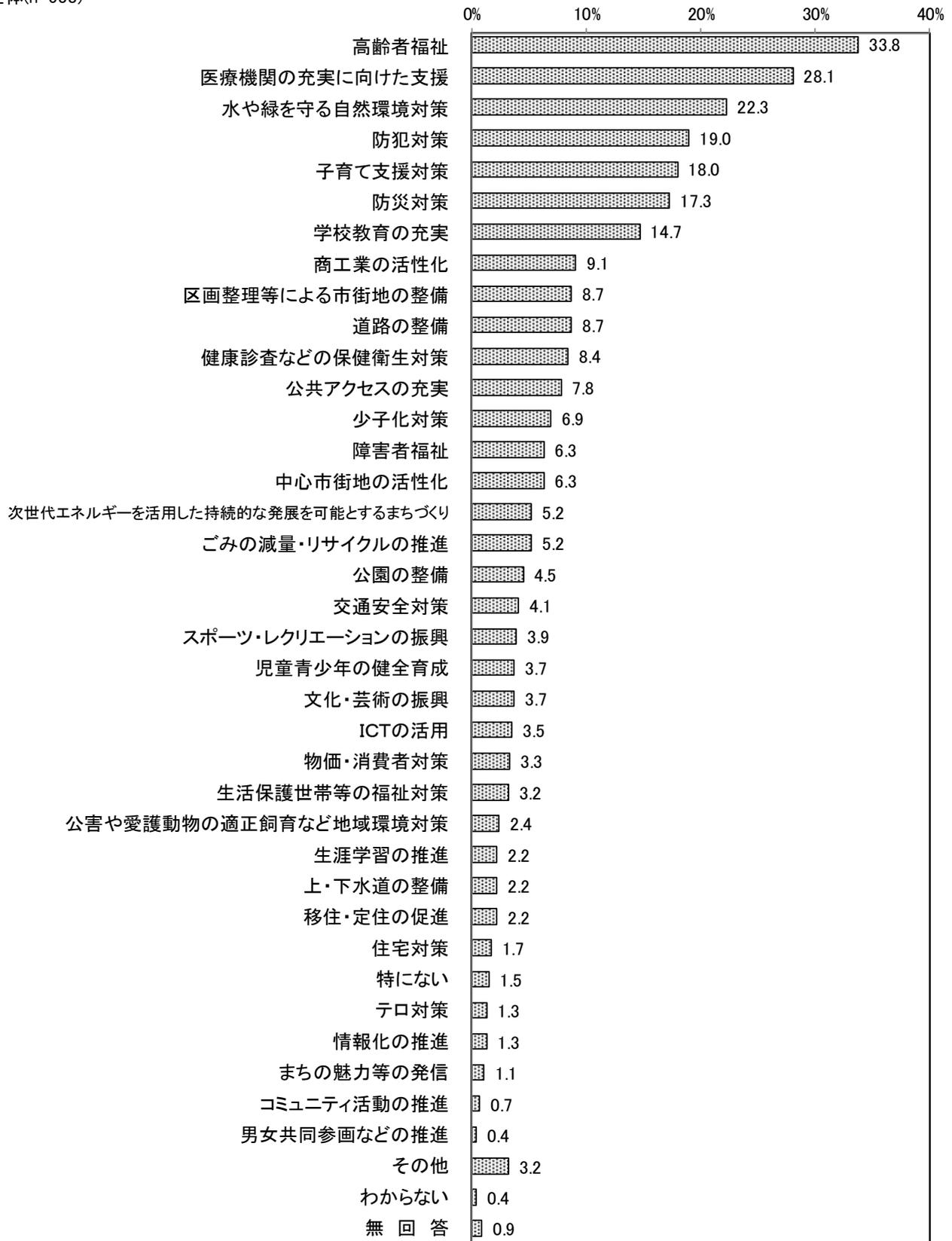
性・年代別で見ると、男性 40 歳代で「やや関心がある」（51.0%）が全体よりやや高くなっています。

	n	問6 市政への関心度					
		大いに関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体	538	9.3	38.7	32.5	14.1	2.8	2.6
性別							
男	210	11.0	39.5	30.0	13.3	2.9	3.3
女	315	7.6	38.1	34.6	14.9	2.9	1.9
性・年代別							
男・20歳未満	2	0.0	★ 0.0	○ 50.0	☆ 50.0	0.0	0.0
男・20歳代	17	5.9	★ 5.9	35.3	○ 29.4	11.8	11.8
男・30歳代	22	13.6	● 22.7	36.4	9.1	□ 13.6	4.5
男・40歳代	49	4.1	□ 51.0	30.6	12.2	0.0	2.0
男・50歳代	31	9.7	48.4	22.6	16.1	3.2	0.0
男・60歳代	40	□ 20.0	42.5	30.0	7.5	0.0	0.0
男・70歳以上	49	12.2	40.8	28.6	12.2	0.0	6.1
女・20歳未満	3	0.0	33.3	☆ 66.7	■ 0.0	0.0	0.0
女・20歳代	21	0.0	38.1	33.3	23.8	4.8	0.0
女・30歳代	35	0.0	40.0	37.1	20.0	0.0	2.9
女・40歳代	62	1.6	30.6	35.5	22.6	8.1	1.6
女・50歳代	73	5.5	42.5	37.0	12.3	2.7	0.0
女・60歳代	60	13.3	38.3	33.3	11.7	0.0	3.3
女・70歳以上	61	18.0	39.3	29.5	8.2	1.6	3.3
定住意向							
ずっと住み続けたい	270	11.9	43.3	30.4	11.1	1.5	1.9
当分の間住みたい	220	5.9	37.3	36.8	14.1	3.2	2.7
できれば転出したい	29	17.2	★ 10.3	24.1	□ 27.6	10.3	10.3
転出する	7	0.0	■ 28.6	● 14.3	☆ 57.1	0.0	0.0

(2) 力を入れてほしい、実施してもらいたい取組み

全体では、「高齢者福祉」が 33.8%、次いで「医療機関の充実に向けた支援」(28.1%)、「水や緑を守る自然環境対策」(22.3%) となっています。

問7 力を入れてほしい、実施してもらいたい取組み[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
横田基地騒音問題	3
水上公園プールの再開	3
学校教育水準の向上	2
市財政悪化の緩和	2
税金を下げて欲しい	1
防災無線の廃止と花への市税投入の廃止	1
雇用の創出	1
在宅介護をしている同居家族への支援	1
その他	3

上位 10 項目について過去の調査と比較すると、「高齢者福祉」が前回よりやや低く、前々回より低くなっています。「防災対策」が前々回よりやや高くなっています。

	高齢者福祉(※1)	医療機関の充実に向けた支援	水や緑を守る自然環境対策(※2)	防犯対策	子育て支援対策	防災対策	学校教育の充実	商工業の活性化	区画整理等による市街地の整備	道路の整備
今回(R2)	33.8	28.1	22.3	19.0	18.0	17.3	14.7	9.1	8.7	8.7
前回(H27)	44.8	27.6	23.2	18.7	23.0	14.5	13.5	6.0	7.1	8.7
前々回(H22)	50.6	31.2	13.5	20.1	21.1	5.9	12.6	9.6	7.8	6.7

※1 前々回の選択肢は「高齢者対策」

※2 前々回の選択肢は「環境保全対策」

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「子育て支援対策」(57.1%)、「学校教育の充実」(37.1%)が全体よりとても高くなっています。女性 70 歳以上で「高齢者福祉」(62.3%)が全体よりとても高くなっています。

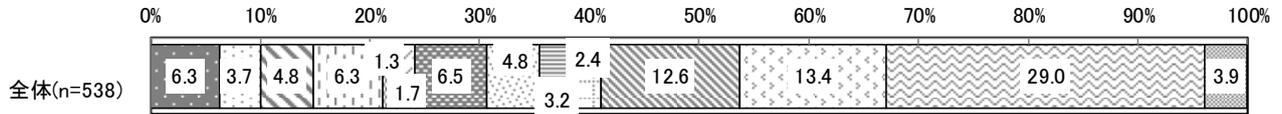
居住地区で見ると、富士見平・羽 4000 番台で「高齢者福祉」(53.8%)が全体よりとても高くなっています。

		n	問7 力を入れてほしい、実施してもらいたい取組み									
			高齢者福祉	医療機関の充実に向けた支援	水や緑を守る自然環境対策	防犯対策	子育て支援対策	防災対策	学校教育の充実	商工業の活性化	区画整理等による市街地の整備	道路の整備
全体		538	33.8	28.1	22.3	19.0	18.0	17.3	14.7	9.1	8.7	8.7
性別	男	210	30.0	27.1	18.6	19.5	16.2	14.3	11.0	11.4	8.6	10.5
	女	315	36.5	28.6	25.4	18.4	19.7	18.7	17.8	7.3	8.9	7.6
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	17	★ 0.0	■ 17.6	■ 11.8	17.6	23.5	■ 5.9	17.6	11.8	11.8	5.9
	男・30歳代	22	★ 4.5	● 9.1	13.6	27.3	○ 36.4	13.6	18.2	13.6	9.1	18.2
	男・40歳代	49	■ 20.4	18.4	20.4	26.5	24.5	12.2	16.3	18.4	2.0	8.2
	男・50歳代	31	38.7	35.5	25.8	12.9	■ 6.5	16.1	■ 0.0	12.9	16.1	16.1
	男・60歳代	40	○ 50.0	27.5	17.5	27.5	12.5	□ 27.5	7.5	12.5	2.5	7.5
	男・70歳以上	49	40.8	□ 42.9	18.4	■ 8.2	■ 6.1	8.2	10.2	2.0	14.3	10.2
	女・20歳未満	3	★ 0.0	33.3	□ 33.3	□ 33.3	○ 33.3	○ 33.3	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	■ 19.0	23.8	23.8	9.5	☆ 42.9	9.5	19.0	4.8	9.5	0.0
	女・30歳代	35	★ 11.4	■ 17.1	17.1	14.3	☆ 57.1	11.4	☆ 37.1	2.9	17.1	2.9
	女・40歳代	62	■ 22.6	25.8	22.6	24.2	22.6	25.8	□ 27.4	6.5	8.1	6.5
	女・50歳代	73	34.2	27.4	26.0	26.0	■ 6.8	23.3	8.2	11.0	8.2	9.6
	女・60歳代	60	○ 50.0	31.7	30.0	10.0	16.7	15.0	11.7	6.7	11.7	8.3
	女・70歳以上	61	☆ 62.3	37.7	27.9	16.4	■ 4.9	16.4	14.8	8.2	3.3	11.5
居住地区	神明台	78	32.1	28.2	21.8	11.5	20.5	11.5	19.2	11.5	3.8	7.7
	双葉町	26	38.5	34.6	■ 7.7	□ 30.8	23.1	○ 34.6	7.7	15.4	0.0	11.5
	五ノ神	39	■ 23.1	23.1	17.9	□ 30.8	17.9	20.5	20.5	2.6	17.9	5.1
	富士見平・羽4000番台	39	☆ 53.8	33.3	12.8	23.1	■ 5.1	20.5	10.3	12.8	5.1	2.6
	緑ヶ丘	73	28.8	21.9	□ 32.9	19.2	15.1	11.0	12.3	8.2	11.0	8.2
	栄町	42	33.3	□ 42.9	19.0	14.3	14.3	19.0	9.5	9.5	4.8	9.5
	小作台	62	24.2	30.6	22.6	27.4	19.4	21.0	8.1	11.3	6.5	6.5
	羽西	20	40.0	20.0	30.0	15.0	10.0	25.0	○ 30.0	10.0	0.0	15.0
	羽加美	45	42.2	31.1	24.4	17.8	□ 31.1	17.8	20.0	4.4	8.9	11.1
	羽中	38	34.2	23.7	21.1	21.1	21.1	21.1	13.2	7.9	13.2	15.8
	羽東	27	25.9	18.5	29.6	● 3.7	11.1	7.4	22.2	11.1	18.5	7.4
川崎	23	26.1	34.8	21.7	17.4	21.7	13.0	13.0	4.3	17.4	8.7	
玉川・羽600～700番台	12	☆ 66.7	■ 16.7	25.0	● 0.0	○ 33.3	8.3	□ 25.0	16.7	16.7	16.7	
定住意向	ずっと住み続けたい	270	41.1	28.9	24.8	14.4	16.7	18.9	15.6	9.6	10.0	8.1
	当分の間住みたい	220	25.5	26.8	20.5	24.1	21.8	15.9	15.5	7.7	7.7	10.5
	できれば転出したい	29	37.9	31.0	■ 10.3	27.6	■ 3.4	■ 6.9	10.3	13.8	6.9	6.9
	転出する	7	★ 0.0	28.6	14.3	28.6	□ 28.6	☆ 42.9	■ 0.0	14.3	14.3	0.0

(3) 市政への参加・協働意向

全体では、「参加したくない」が13.4%、次いで「参加をためらっている」(12.6%)、「出前講座などへの参加」(6.5%)となっています。

問8 市政への参加・協働意向〔%〕



- 市長への手紙などの制度
- 市長とトークなどの懇談会
- ▣ まちづくりフォーラムなどの対話集会
- 公聴会
- ▣ 事業実施のための実行委員会
- 公募による審議会などの委員
- ▣ 出前講座などへの参加
- ▣ 公園ボランティア等の公共施設管理など
- ▣ 捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア
- その他
- ▣ 参加をためらっている
- ▣ 参加したくない
- ▣ わからない
- ▣ 無回答

「その他」の回答内容	件数
SNSやインターネット活用	3
出来る範囲の事をやりたい	2
消防団に参加	1
意見箱等	1
文化活動に特化した行い	1
個人で防災・防犯に力を入れる	1
その他	4

上位 10 項目について過去の調査と比較すると、「参加したくない」・「参加をためらっている」では 10%程度で、参加意向のある方では 10%未満で推移しており、大きな変化は見られません。

	参加したくない	参加をためらっている	出前講座などへの参加	市長への手紙などの制度	公聴会	まちづくりフォーラムなどの対話集会	公園ボランティア等の公共施設管理など	市長とトークなどの懇談会	捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア	事業実施のための実行委員会
今回(R2)	13.4	12.6	6.5	6.3	6.3	4.8	4.8	3.7	3.2	1.3
前回(H27)	7.3	12.7	7.7	5.0	6.4	6.2	7.5	4.2	7.1	3.1
前々回(H22)	6.7	12.0	5.5	5.5	9.1	6.3	8.5	6.5	6.5	1.3

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

クロス集計の結果、いずれの組合せにおいても全体との差は見られません。

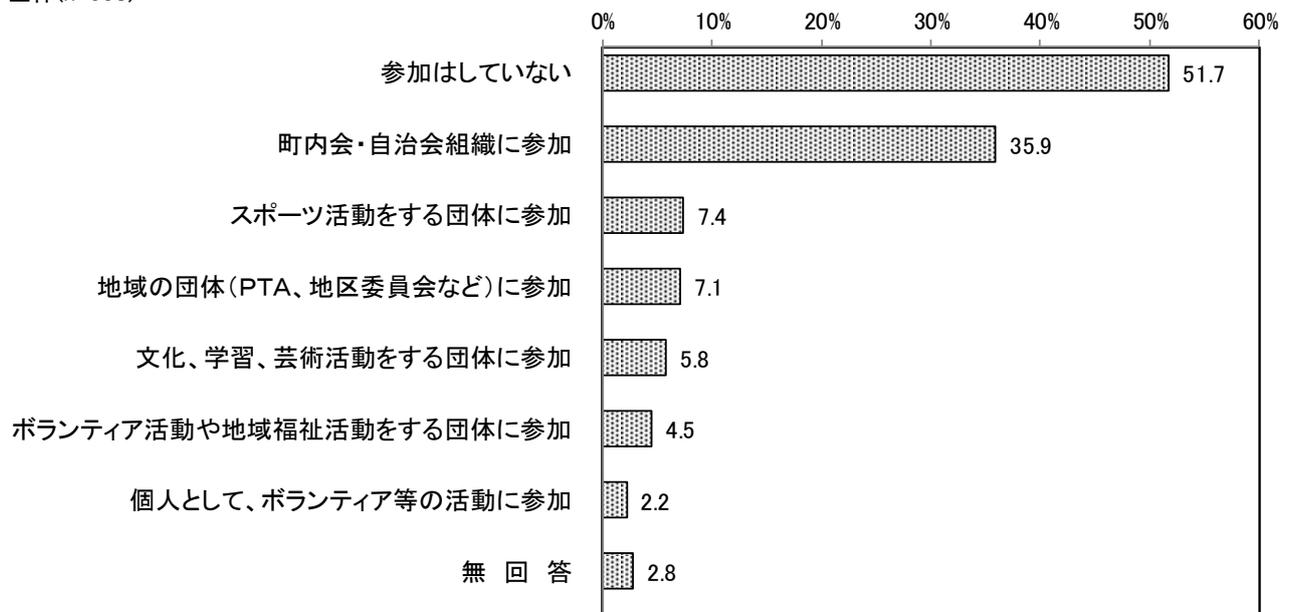
	n	問8 市政への参加・協働意向									
		参加したくない	参加をためらっている	出前講座などへの参加	市長への手紙などの制度	公聴会	まちづくりフォーラムなどの対話集会	公園ボランティア等の公共施設管理など	市長とトークなどの懇談会	捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア	事業実施のための実行委員会
全体	538	13.4	12.6	6.5	6.3	6.3	4.8	4.8	3.7	3.2	1.3
性別											
男	210	14.8	10.5	2.9	5.7	7.1	6.2	6.7	6.7	4.3	1.4
女	315	13.0	14.0	8.6	6.3	5.4	4.1	3.8	1.9	2.5	1.3
性・年代別											
男・20歳未満	2	☆ 50.0	☆ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	17	□ 23.5	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0
男・30歳代	22	22.7	4.5	4.5	9.1	4.5	0.0	9.1	9.1	4.5	4.5
男・40歳代	49	16.3	4.1	2.0	2.0	6.1	10.2	4.1	10.2	0.0	2.0
男・50歳代	31	16.1	6.5	3.2	6.5	12.9	0.0	9.7	6.5	3.2	0.0
男・60歳代	40	7.5	12.5	5.0	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	2.5
男・70歳以上	49	10.2	20.4	2.0	4.1	4.1	8.2	10.2	4.1	6.1	0.0
女・20歳未満	3	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 33.3	☆ 33.3
女・20歳代	21	9.5	14.3	4.8	0.0	9.5	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0
女・30歳代	35	5.7	20.0	2.9	8.6	5.7	5.7	5.7	2.9	0.0	0.0
女・40歳代	62	14.5	16.1	11.3	9.7	1.6	3.2	1.6	0.0	0.0	0.0
女・50歳代	73	17.8	8.2	5.5	6.8	6.8	5.5	5.5	1.4	2.7	2.7
女・60歳代	60	13.3	13.3	11.7	5.0	5.0	5.0	3.3	1.7	5.0	1.7
女・70歳以上	61	11.5	16.4	11.5	4.9	6.6	3.3	1.6	4.9	3.3	0.0
定住意向											
ずっと住み続けたい	270	11.5	12.2	7.0	5.9	6.3	5.6	4.1	4.8	3.3	1.5
当分の間住みたい	220	15.0	11.4	6.8	5.9	6.8	3.6	6.4	2.7	2.7	1.4
できれば転出したい	29	17.2	17.2	3.4	□ 17.2	6.9	6.9	0.0	0.0	3.4	0.0
転出する	7	■ 0.0	☆ 42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	□ 14.3	0.0	0.0

5. 市民活動

(1) 市民活動への参加状況

全体では、「参加はしていない」が51.7%、次いで「町内会・自治会組織に参加」(35.9%)、「スポーツ活動をする団体に参加」(7.4%)となっています。

問9 市民活動への参加状況[%・複数回答]
全体(n=538)



性・年代別で見ると、男性 60 歳代で「町内会・自治会組織に参加」(57.5%) が全体よりとても高くなっています。

居住地区で見ると、小作台で「参加はしていない」(79.0%) が全体よりとても高くなっています。羽中で「町内会・自治会組織に参加」(68.4%) が全体よりとても高くなっています。

居住年数で見ると、3年未満で「町内会・自治会組織に参加」(6.7%) が全体よりとても低くなっています。

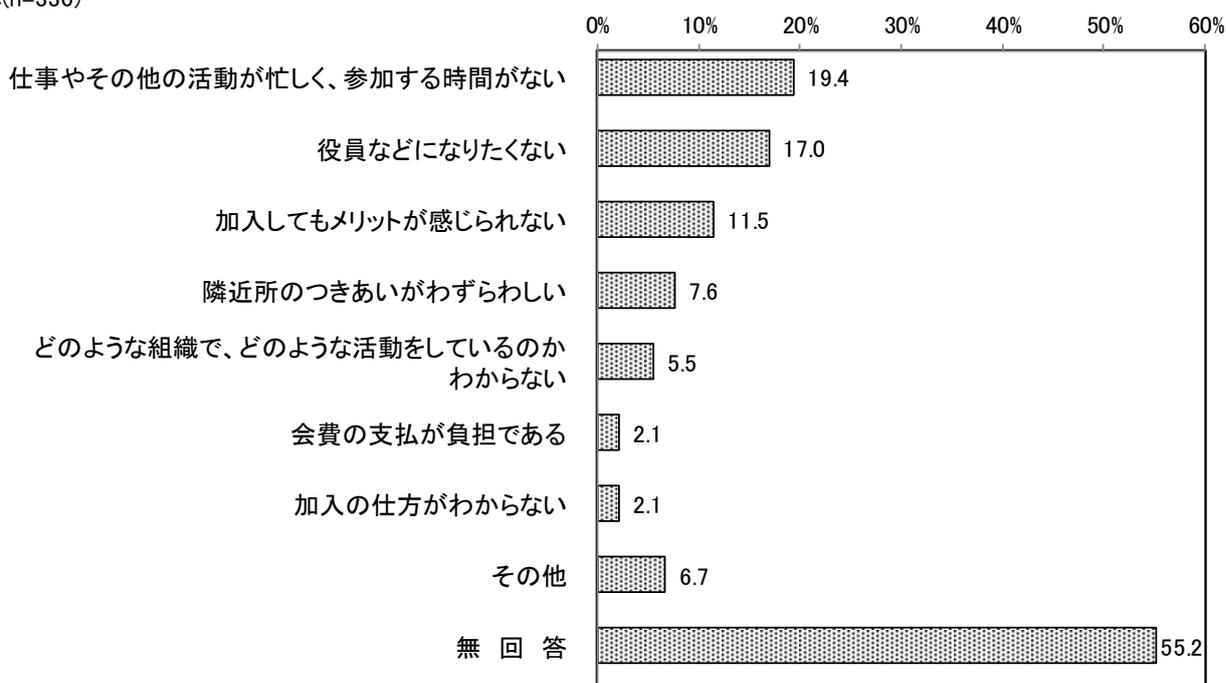
		n	問9 市民活動への参加状況							無回答
			参加は していない	町内会・ 自治会 組織に 参加	地域の 団体(P TA、地 区委員 会など) に参加	ボラン ティア活 動や地 域福祉 活動を する団 体に参加	文化、学 習、芸術 活動を する団 体に参加	スポーツ 活動を する団 体に参加	個人とし て、ボラ ンティア 等の活動 に参加	
全 体		538	51.7	35.9	7.1	4.5	5.8	7.4	2.2	2.8
性 別	男	210	52.4	35.7	4.3	3.3	3.8	9.0	1.9	3.3
	女	315	51.7	35.9	9.2	5.4	6.7	6.3	2.5	1.9
性・ 年代別	男・20歳未満	2	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	17	☆ 88.2	★ 5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
	男・30歳代	22	☆ 77.3	★ 9.1	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5
	男・40歳代	49	55.1	30.6	12.2	2.0	4.1	10.2	2.0	0.0
	男・50歳代	31	58.1	38.7	0.0	3.2	0.0	16.1	0.0	0.0
	男・60歳代	40	● 35.0	☆ 57.5	2.5	7.5	2.5	5.0	2.5	5.0
	男・70歳以上	49	● 34.7	44.9	2.0	2.0	10.2	12.2	4.1	6.1
	女・20歳未満	3	● 33.3	☆ 66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	☆ 76.2	★ 4.8	4.8	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0
	女・30歳代	35	○ 68.6	■ 22.9	8.6	2.9	0.0	2.9	0.0	2.9
	女・40歳代	62	54.8	30.6	□ 21.0	0.0	1.6	6.5	3.2	0.0
	女・50歳代	73	52.1	37.0	13.7	4.1	5.5	6.8	1.4	0.0
	女・60歳代	60	43.3	□ 46.7	1.7	6.7	13.3	6.7	5.0	3.3
	女・70歳以上	61	■ 39.3	□ 45.9	1.6	9.8	11.5	9.8	3.3	4.9
居住 地区	神明台	78	55.1	■ 23.1	11.5	2.6	6.4	12.8	2.6	3.8
	双葉町	26	■ 38.5	○ 53.8	3.8	3.8	7.7	3.8	3.8	0.0
	五ノ神	39	61.5	■ 25.6	5.1	5.1	7.7	2.6	0.0	2.6
	富士見平・羽4000番台	39	53.8	33.3	7.7	7.7	7.7	7.7	2.6	2.6
	緑ヶ丘	73	49.3	41.1	4.1	5.5	6.8	11.0	2.7	2.7
	栄町	42	54.8	38.1	4.8	2.4	7.1	2.4	2.4	2.4
	小作台	62	☆ 79.0	★ 11.3	1.6	3.2	1.6	1.6	3.2	4.8
	羽西	20	55.0	30.0	15.0	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0
	羽加美	45	42.2	○ 51.1	6.7	4.4	6.7	6.7	0.0	0.0
	羽中	38	★ 23.7	☆ 68.4	10.5	5.3	2.6	7.9	2.6	2.6
	羽東	27	■ 37.0	○ 55.6	14.8	7.4	7.4	11.1	3.7	0.0
川崎	23	43.5	30.4	8.7	4.3	8.7	13.0	4.3	4.3	
玉川・羽600～700番台	12	■ 41.7	33.3	8.3	□ 16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
居住 年数	3年未満	30	☆ 76.7	★ 6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	3.3	6.7
	3年以上5年未満	17	☆ 76.5	■ 23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	54	☆ 72.2	● 18.5	7.4	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0
	10年以上20年未満	92	□ 62.0	■ 23.9	13.0	2.2	1.1	6.5	0.0	1.1
	20年以上	339	41.9	45.4	6.5	5.9	8.3	9.4	2.7	3.2
定住 意向	ずっと住み続けたい	270	■ 39.6	□ 47.0	8.1	6.7	7.0	10.7	3.0	3.3
	当分の間住みたい	220	□ 63.2	■ 25.0	6.8	1.8	4.5	4.5	1.8	2.7
	できれば転出したい	29	☆ 75.9	★ 13.8	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0
	転出する	7	57.1	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0

※(2)は、(1)で「町内会・自治会組織に参加」以外を回答した方みの数値です。

(2)町内会・自治会組織への不参加理由

「町内会・自治会組織に参加」以外を回答した方では、「仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間がない」が19.4%、次いで「役員などになりたくない」(17.0%)、「加入してもメリットを感じられない」(11.5%)となっています。

問10 町内会・自治会組織への不参加理由[%・複数回答]
全体(n=330)



「その他」の回答内容	件数
体が不自由	3
市外へ転居する予定があり、加入する意欲がない	2
マンション・アパートなので	2
家の事情	1
時間がない	1
経済的にも精神的にも余裕がない	1
転居したばかりなので	1
自分の中での優先度が低い	1
参加していたが、事情により辞めた	6
その他	3

クロス集計の結果、いずれの組合せにおいても全体との差は見られません。

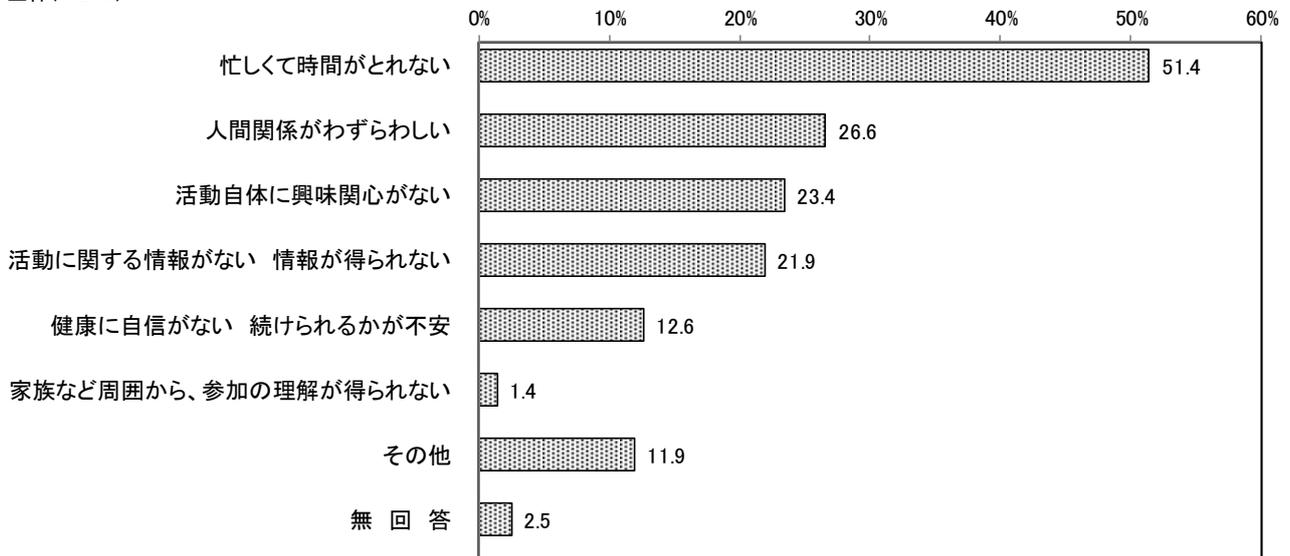
		n	問10 町内会・自治会組織への不参加理由								
			仕事や その他の 活動が忙 しく、参 加する時 間がない	役員な どにな りたくな い	加入し てもメ リットが 感じら れない	隣近所 のつき あいが わずら わしい	どのよ うな組 織で、 どのよ うな活 動をし ている のかわ らない	会費の 支払が 負担で ある	加入の 仕方が わから ない	その他	無回答
全 体		330	19.4	17.0	11.5	7.6	5.5	2.1	2.1	6.7	55.2
居 住 年 数	3年未満	26	● 3.8	■ 3.8	3.8	3.8	7.7	0.0	7.7	3.8	76.9
	3年以上5年未満	13	□ 30.8	● 0.0	■ 0.0	0.0	7.7	□ 15.4	0.0	7.7	61.5
	5年以上10年未満	44	27.3	15.9	9.1	2.3	6.8	0.0	6.8	6.8	54.5
	10年以上20年未満	69	27.5	21.7	13.0	5.8	5.8	2.9	2.9	2.9	50.7
	20年以上	174	16.1	19.0	13.8	10.9	4.6	1.7	0.0	8.6	52.3

※(3)は、(1)で「参加はしていない」と回答した方みの数値です。

(3) 市民活動への不参加理由

「参加はしていない」と回答した方では、「忙しくて時間がとれない」が51.4%、次いで「人間関係がわずらわしい」(26.6%)、「活動自体に興味関心がない」(23.4%)となっています。

問11 市民活動への不参加理由[%・複数回答]
全体(n=278)



「その他」の回答内容	件数
年齢的、体力的に難しい	4
育児が忙しい	3
仕事が忙しい	3
そのような機会がない	3
アパートなので	2
経済的にも精神的にも余裕がない	2
イベントが多いと参加義務にとらわれ協力できない	2
子どもが大きくなってPTA役員が終わったため	2
親の介護	1
加入が少なく役員がすぐに回ってくる	1
旧体制のままの運営であるため	1
自分の中で優先度が低い	1
人と接することが苦手	1
転居したばかりなので	1
その他	6

6. 男女共同参画

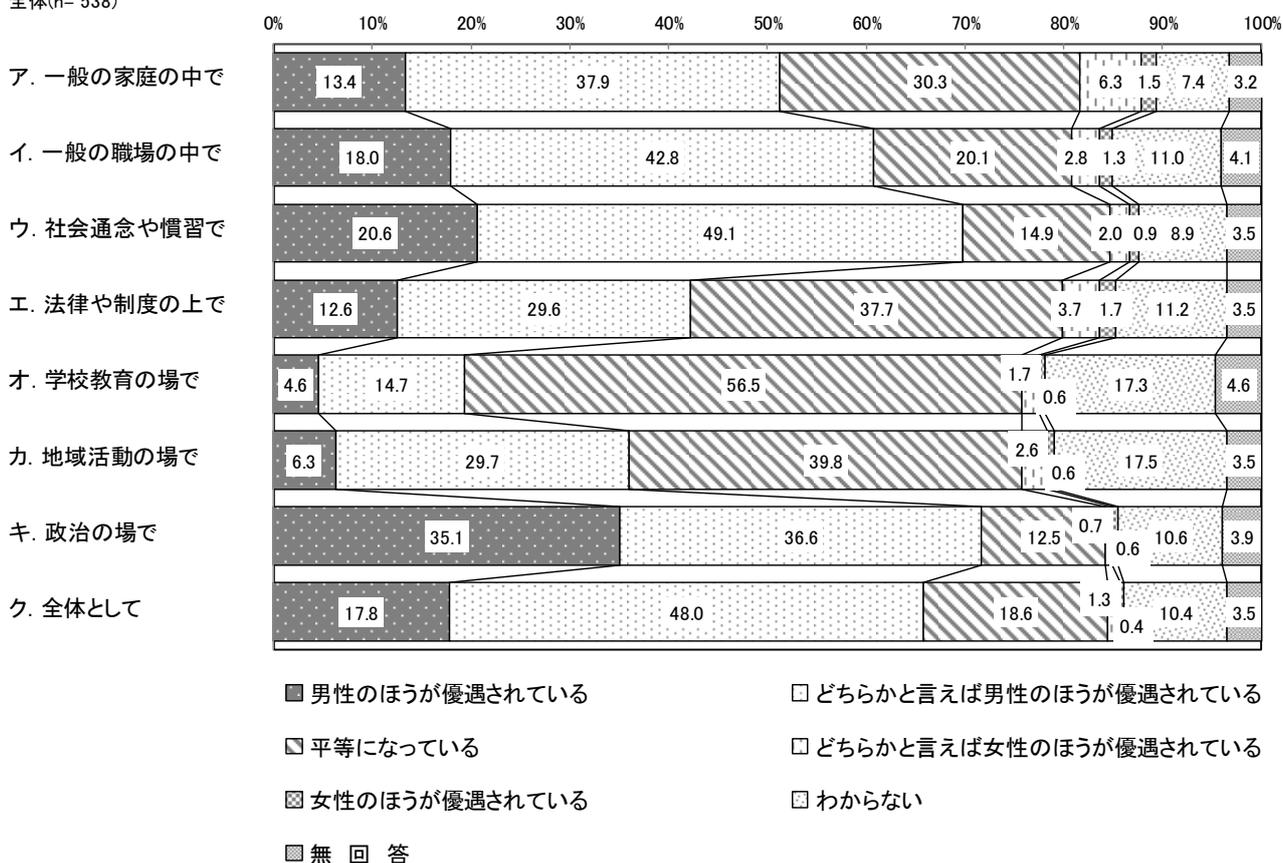
(1) 各分野における男女平等感

「平等になっている」と回答した方では、「学校教育の場で」が56.5%、次いで「地域活動の場で」(39.8%)、「法律や制度の上で」(37.7%)となっています。

<男性優遇>（「男性のほうが優遇されている」＋「どちらかと言えば男性のほうが優遇されている」）と回答した方では、「政治の場で」が71.7%、次いで「社会通念や慣習で」(69.7%)、「全体として」(65.8%)となっています。

<女性優遇>（「女性のほうが優遇されている」＋「どちらかと言えば女性のほうが優遇されている」）と回答した方では、「一般家庭の中で」が7.8%、次いで「法律や制度の上で」(5.4%)、「一般の職場の中で」(4.1%)となっています。

問12 各分野における男女平等感[%]
全体(n=538)



過去の調査と比較すると、＜男性優遇＞で「政治の場で」が前々回より高くなっています。

	男性優遇			平等			女性優遇		
	今回(R2)	前回(H27)	前々回(H22)	今回(R2)	前回(H27)	前々回(H22)	今回(R2)	前回(H27)	前々回(H22)
ア. 一般の家庭の中で	51.3	46.2	43.3	30.3	34.9	36.2	7.8	7.9	8.8
イ. 一般の職場の中で	60.8	58.1	56.4	20.1	20.8	19.8	4.1	6.3	6.8
ウ. 社会通念や慣習で	69.7	67.4	64.6	14.9	17.0	17.7	2.9	3.7	4.2
エ. 法律や制度の上で	42.2	34.9	36.2	37.7	42.5	42.1	5.4	6.3	6.5
オ. 学校教育の場で	19.3	15.4	15.3	56.5	61.2	60.4	2.3	4.5	3.7
カ. 地域活動の中で	36.0	36.1	36.2	39.8	40.7	42.1	3.2	7.5	5.5
キ. 政治の場で	71.7	66.7	61.5	12.5	17.4	21.4	1.3	2.5	2.0
ク. 全体として	65.8	59.9	58.3	18.6	23.6	25.5	1.7	3.9	4.4

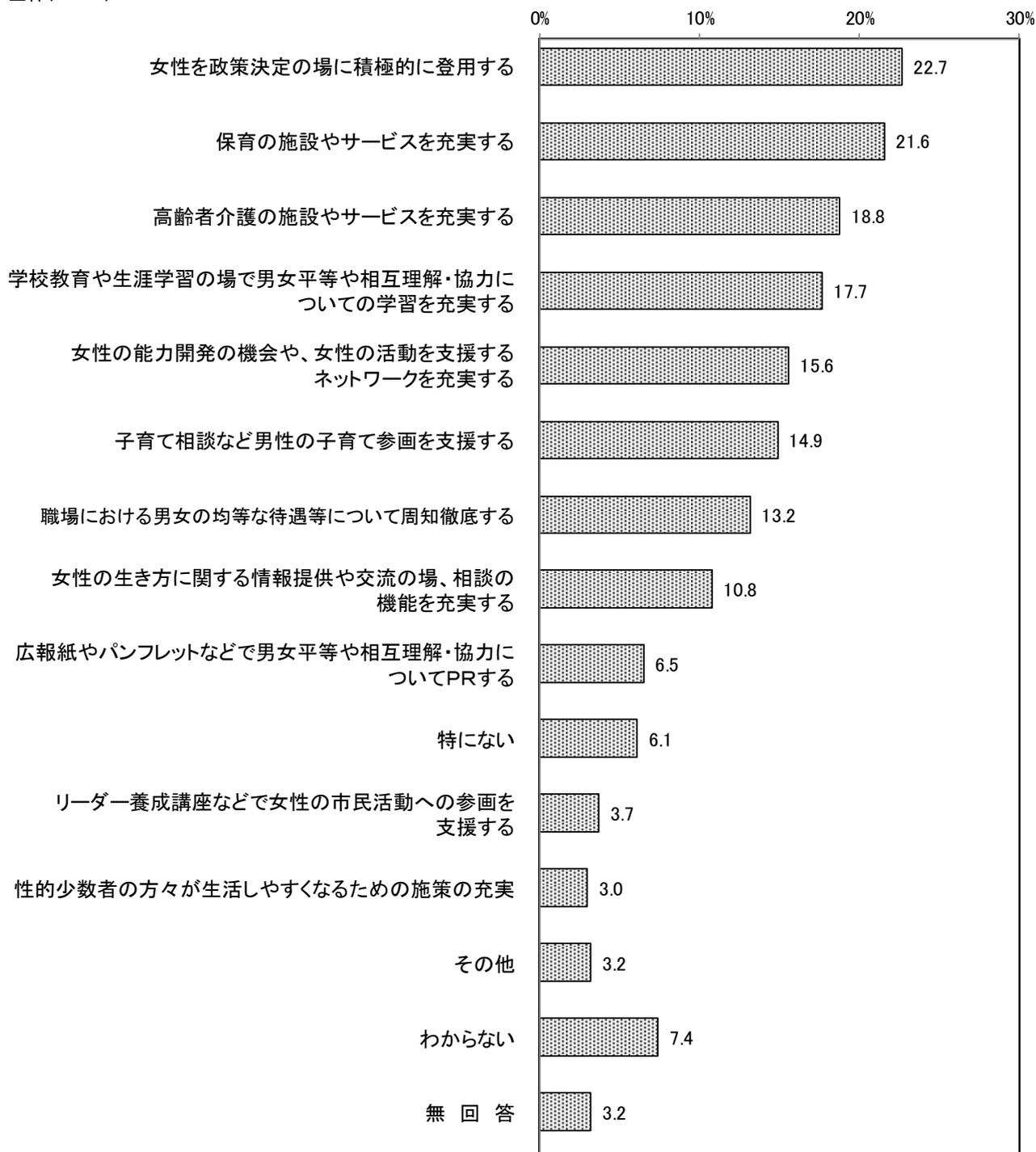
「全体として」では、男性 50 歳代で「男性のほうが優遇されている」(3.2%) が全体よりやや低くなっています。

		n	問12 各分野における男女平等感 ク. 全体として					わからない	無回答
			男性の ほうが 優遇さ れている	どちらか と言えば 男性の ほうが 優遇さ れている	平等に なってい る	どちらか と言えば 女性の ほうが 優遇さ れている	女性の ほうが 優遇さ れている		
全 体		538	17.8	48.0	18.6	1.3	0.4	10.4	3.5
性 別	男	210	10.0	46.2	25.7	2.9	1.0	10.0	4.3
	女	315	22.9	48.9	14.3	0.3	0.0	10.8	2.9
性・ 年 代 別	男・20歳未満	2	● 0.0	★ 0.0	● 0.0	0.0	0.0	☆ 50.0	50.0
	男・20歳代	17	■ 5.9	★ 11.8	☆ 52.9	5.9	0.0	17.6	5.9
	男・30歳代	22	18.2	★ 27.3	□ 31.8	4.5	4.5	9.1	4.5
	男・40歳代	49	16.3	□ 59.2	14.3	2.0	0.0	8.2	0.0
	男・50歳代	31	■ 3.2	□ 58.1	25.8	3.2	3.2	6.5	0.0
	男・60歳代	40	10.0	50.0	27.5	2.5	0.0	5.0	5.0
	男・70歳以上	49	■ 6.1	44.9	24.5	2.0	0.0	14.3	8.2
	女・20歳未満	3	● 0.0	○ 66.7	● 0.0	0.0	0.0	☆ 33.3	0.0
	女・20歳代	21	14.3	47.6	23.8	0.0	0.0	14.3	0.0
	女・30歳代	35	11.4	48.6	22.9	0.0	0.0	14.3	2.9
	女・40歳代	62	□ 29.0	53.2	■ 8.1	1.6	0.0	8.1	0.0
	女・50歳代	73	26.0	47.9	15.1	0.0	0.0	11.0	0.0
	女・60歳代	60	26.7	50.0	11.7	0.0	0.0	6.7	5.0
	女・70歳以上	61	19.7	44.3	14.8	0.0	0.0	13.1	8.2

(2) 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと

全体では、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」が 22.7%、次いで「保育の施設やサービスを充実する」(21.6%)、「高齢者介護の施設やサービスを充実する」(18.8%) となっています。

問13 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと〔%・複数回答〕
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
多様性を認め、男女、外国籍、LGBTなど全ての人々が平等であること	6
男性も育児をしやすい社会環境づくり、男性の育児休業の取得推進	2
子育てで得られるつながり、経験がキャリアとして活用される仕組みづくり	1
市政にはもっと女性登用の推進が必要	1
その他	7

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

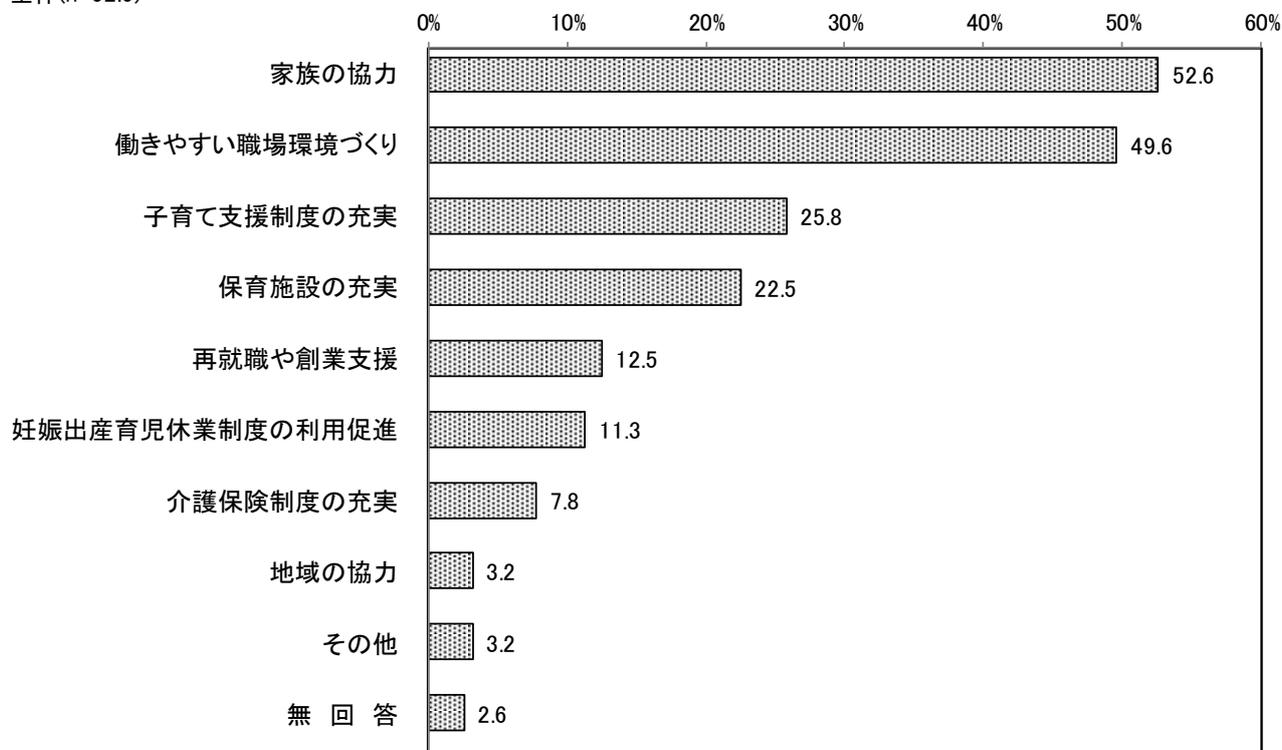
性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「保育の施設やサービスを充実する」(45.7%) が全体よりも高くなっています。女性 70 歳以上で「高齢者介護の施設やサービスを充実する」(36.1%) が全体よりも高くなっています。

		問13 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと										
		n	女性を政策決定の場に積極的に登用する	保育の施設やサービスを充実する	高齢者介護の施設やサービスを充実する	学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する	女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する	子育て相談など男性の子育てを支援する	職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する	女性の生き方に関する情報や交流の場の機能を充実する	広報紙やパンフレットなどで男女平等や相互理解・協力についてPRする	特にない
全体		538	22.7	21.6	18.8	17.7	15.6	14.9	13.2	10.8	6.5	6.1
性別	男	210	31.4	20.5	17.1	12.4	12.9	14.3	12.9	12.9	7.6	7.6
	女	315	17.1	21.9	19.7	21.0	16.8	15.2	13.3	9.2	5.7	5.4
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	17	29.4	11.8	● 0.0	■ 5.9	5.9	17.6	○ 29.4	■ 0.0	5.9	○ 23.5
	男・30歳代	22	27.3	22.7	9.1	13.6	13.6	22.7	9.1	13.6	0.0	13.6
	男・40歳代	49	30.6	20.4	■ 6.1	10.2	10.2	22.4	12.2	18.4	6.1	4.1
	男・50歳代	31	○ 38.7	19.4	16.1	12.9	19.4	16.1	9.7	9.7	6.5	3.2
	男・60歳代	40	30.0	30.0	20.0	15.0	12.5	7.5	20.0	15.0	7.5	12.5
	男・70歳以上	49	□ 32.7	16.3	○ 36.7	14.3	14.3	6.1	6.1	12.2	14.3	2.0
	女・20歳未満	3	★ 0.0	□ 33.3	● 0.0	☆ 66.7	● 0.0	☆ 66.7	☆ 33.3	■ 0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	14.3	28.6	9.5	14.3	□ 28.6	☆ 47.6	9.5	4.8	0.0	4.8
	女・30歳代	35	17.1	☆ 45.7	■ 8.6	□ 31.4	22.9	20.0	11.4	5.7	2.9	5.7
	女・40歳代	62	■ 11.3	25.8	9.7	19.4	17.7	17.7	8.1	14.5	4.8	3.2
	女・50歳代	73	19.2	16.4	17.8	19.2	17.8	13.7	16.4	9.6	8.2	5.5
	女・60歳代	60	18.3	21.7	26.7	21.7	18.3	8.3	13.3	10.0	5.0	5.0
	女・70歳以上	61	21.3	■ 8.2	○ 36.1	18.0	6.6	■ 4.9	16.4	6.6	8.2	8.2

(3) 女性が職業を持ち続けるために必要なこと

全体では、「家族の協力」が 52.6%、次いで「働きやすい職場環境づくり」(49.6%)、「子育て支援制度の充実」(25.8%) となっています。

問14 女性が職業を持ち続けるために必要なこと〔%・複数回答〕
全体(n=52.6)



「その他」の回答内容	件数
家族、男性の育児休業利用促進・育児・介護の当事者意識向上	5
それぞれの事情に合わせて働き方を選択しやすいようにする。 法整備や職場環境の改善など	3
再就職につながる勉強をできる機会があると良い	1
子どもが小学校へ上がってからの預け先の充実	1
妊娠出産育児休業期をもっと長くする	1
その他	6

性別で見ると、男性で「子育て支援制度の充実」(36.2%)が全体よりやや高くなっています。

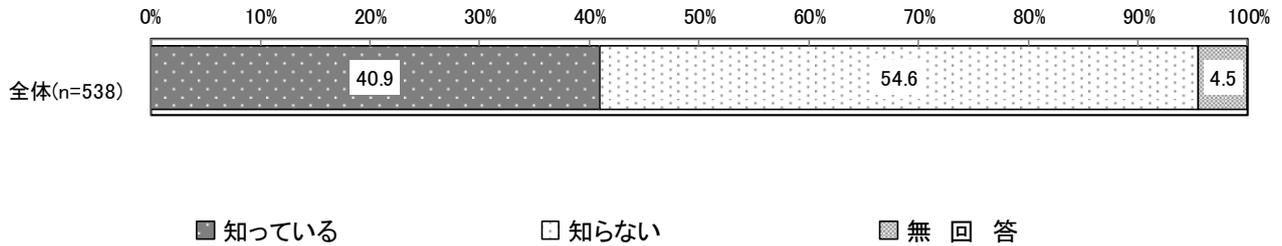
性・年代別で見ると、男性50歳代で「子育て支援制度の充実」(41.9%)が全体より高くなっています。女性70歳以上で「子育て支援制度の充実」(8.2%)が全体より低くなっています。

		n	問14 女性が職業を持ち続けるために必要なこと									
			家族の協力	働きやすい職場環境づくり	子育て支援制度の充実	保育施設の充実	再就職や創業支援	妊娠出産育児休業制度の利用促進	介護保険制度の充実	地域の協力	その他	無回答
全体		538	52.6	49.6	25.8	22.5	12.5	11.3	7.8	3.2	3.2	2.6
性別	男	210	49.5	41.0	□ 36.2	19.5	11.9	12.4	5.2	5.2	3.3	4.3
	女	315	55.2	56.2	18.7	24.1	12.4	10.2	9.8	1.9	3.2	1.3
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 50.0	■ 0.0	0.0	☆ 50.0	0.0	50.0
	男・20歳代	17	★ 29.4	47.1	29.4	29.4	■ 0.0	○ 29.4	0.0	0.0	5.9	5.9
	男・30歳代	22	★ 31.8	● 31.8	☆ 54.5	22.7	□ 22.7	13.6	0.0	4.5	4.5	0.0
	男・40歳代	49	57.1	49.0	30.6	■ 12.2	10.2	8.2	2.0	6.1	8.2	2.0
	男・50歳代	31	■ 41.9	45.2	○ 41.9	22.6	12.9	12.9	6.5	9.7	3.2	0.0
	男・60歳代	40	□ 67.5	42.5	□ 40.0	22.5	7.5	7.5	2.5	0.0	0.0	5.0
	男・70歳以上	49	49.0	● 32.7	30.6	18.4	14.3	14.3	14.3	6.1	0.0	8.2
	女・20歳未満	3	● 33.3	● 33.3	☆ 66.7	□ 33.3	■ 0.0	☆ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	■ 38.1	○ 66.7	19.0	19.0	14.3	☆ 38.1	0.0	0.0	4.8	0.0
	女・30歳代	35	■ 40.0	57.1	28.6	28.6	14.3	11.4	2.9	0.0	2.9	2.9
	女・40歳代	62	□ 64.5	□ 59.7	■ 11.3	24.2	14.5	4.8	4.8	3.2	6.5	0.0
	女・50歳代	73	58.9	□ 63.0	20.5	16.4	13.7	5.5	11.0	1.4	2.7	0.0
	女・60歳代	60	53.3	51.7	26.7	28.3	13.3	10.0	8.3	3.3	0.0	1.7
	女・70歳以上	61	59.0	45.9	● 8.2	27.9	6.6	9.8	○ 23.0	1.6	3.3	3.3

(4)配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度

全体では、「知らない」が 54.6%、「知っている」が 40.9%となっています。

問15 配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度[%]



過去の調査と比較すると、「知っている」は 40%前後、知らないは 50~60%程度で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	知っている	知らない
今回(R2)	40.9	54.6
前回(H27)	35.1	61.6
前々回(H22)	46.0	48.8

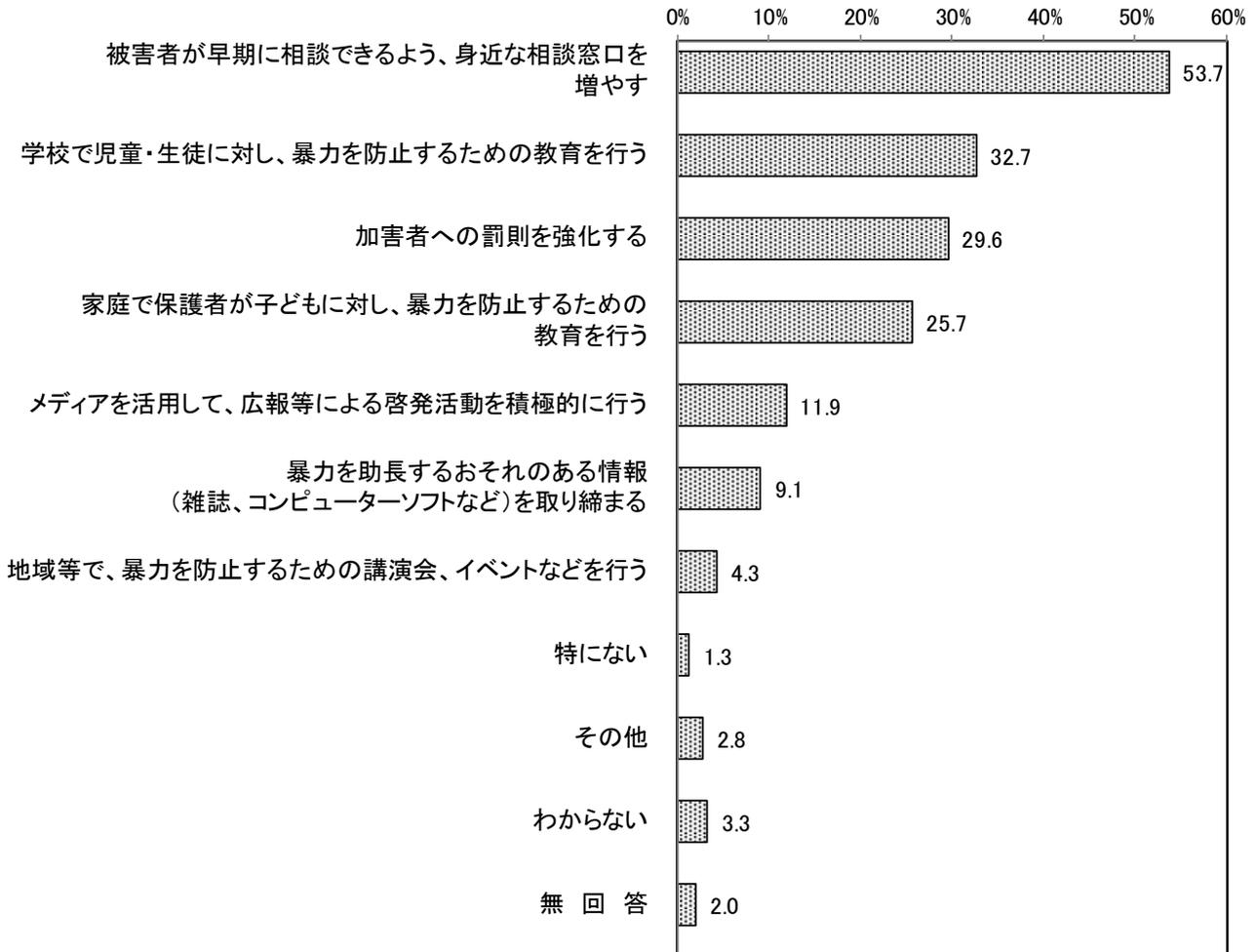
性・年代別で見ると、女性 40 歳代で「知っている」(54.8%) が全体よりやや高くなっています。

		n	問15 配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度		
			知っている	知らない	無回答
全体		538	40.9	54.6	4.5
性別	男	210	31.9	63.8	4.3
	女	315	47.6	47.9	4.4
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	50.0	50.0
	男・20歳代	17	● 23.5	○ 70.6	5.9
	男・30歳代	22	● 22.7	☆ 77.3	0.0
	男・40歳代	49	38.8	59.2	2.0
	男・50歳代	31	32.3	□ 67.7	0.0
	男・60歳代	40	35.0	62.5	2.5
	男・70歳以上	49	■ 30.6	59.2	10.2
	女・20歳未満	3	33.3	□ 66.7	0.0
	女・20歳代	21	□ 52.4	47.6	0.0
	女・30歳代	35	45.7	48.6	5.7
	女・40歳代	62	□ 54.8	■ 43.5	1.6
	女・50歳代	73	50.7	49.3	0.0
	女・60歳代	60	48.3	46.7	5.0
	女・70歳以上	61	36.1	50.8	13.1

(5)男女間の暴力を防止するために必要なこと

全体では、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が53.7%、次いで「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」(32.7%)、「加害者への罰則を強化する」(29.6%)となっています。

問16 男女間の暴力を防止するために必要なこと[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
加害者の相談窓口や支援プログラムの実施	4
夫婦カウンセリングを行う	1
周囲の人がすぐに助けられるような環境づくり 法律や制度に縛られず行動できる相談窓口づくり	1
一時的避難場所を作る、その後の生活相談が出来る制度づくり	1
暴力と体罰に関する境目を考えることを個人がすべき	1
母となる女の子への教育がきちんとなされることが、長い目で見て防止につながる	1
その他	6

過去の調査と比較すると、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う	加害者への罰則を強化する	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	メディアを活用して、広報等による啓発活動を積極的に行う	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる	地域等で、暴力を防止するための講演会、イベントなどを行う
今回(R2)	53.7	32.7	29.6	25.7	11.9	9.1	4.3
前回(H27)	49.6	30.9	25.9	31.1	11.4	12.7	6.8
前々回(H22)	48.4	28.7	22.4	34.2	10.5	17.4	6.8

性・年代別で見ると、男性50歳代で「暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる」（25.8%）が全体より高くなっています。

	n	問16 男女間の暴力を防止するために必要なこと										
		被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う	加害者への罰則を強化する	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	メディアを活用して、広報等による啓発活動を積極的に行う	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる	地域等で、暴力を防止するための講演会、イベントなどを行う	特にな	その他	わからない	
全体	538	53.7	32.7	29.6	25.7	11.9	9.1	4.3	1.3	2.8	3.3	
性別												
男	210	48.6	32.4	30.5	23.3	15.7	9.5	5.7	2.4	2.4	3.3	
女	315	57.8	32.4	28.3	26.7	9.5	8.9	3.5	0.6	3.2	3.2	
性・年代別												
男・20歳未満	2	50.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 50.0	
男・20歳代	17	★ 29.4	23.5	□ 41.2	29.4	□ 23.5	5.9	0.0	0.0	☆ 23.5	0.0	
男・30歳代	22	50.0	■ 22.7	31.8	○ 45.5	18.2	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	
男・40歳代	49	■ 40.8	30.6	□ 42.9	■ 14.3	□ 22.4	6.1	6.1	2.0	0.0	4.1	
男・50歳代	31	58.1	■ 19.4	25.8	● 9.7	□ 25.8	○ 25.8	3.2	6.5	0.0	3.2	
男・60歳代	40	60.0	42.5	25.0	27.5	7.5	7.5	12.5	2.5	0.0	0.0	
男・70歳以上	49	46.9	□ 42.9	22.4	26.5	6.1	10.2	6.1	0.0	0.0	4.1	
女・20歳未満	3	□ 66.7	33.3	33.3	33.3	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
女・20歳代	21	☆ 81.0	23.8	38.1	23.8	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	
女・30歳代	35	57.1	□ 42.9	25.7	22.9	11.4	5.7	0.0	0.0	2.9	2.9	
女・40歳代	62	53.2	30.6	33.9	■ 14.5	9.7	11.3	4.8	0.0	4.8	4.8	
女・50歳代	73	57.5	28.8	34.2	26.0	6.8	11.0	4.1	0.0	5.5	5.5	
女・60歳代	60	63.3	30.0	28.3	□ 38.3	6.7	5.0	3.3	1.7	0.0	0.0	
女・70歳以上	61	49.2	37.7	● 13.1	31.1	14.8	13.1	4.9	1.6	1.6	3.3	

(6)主な家事従事者

「主に自分」と回答した方では、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が50.4%、次いで「町内会・自治会などの地域活動」(24.7%)、「子どもの学校・保育園等の行事への参加」(22.9%)となっています。

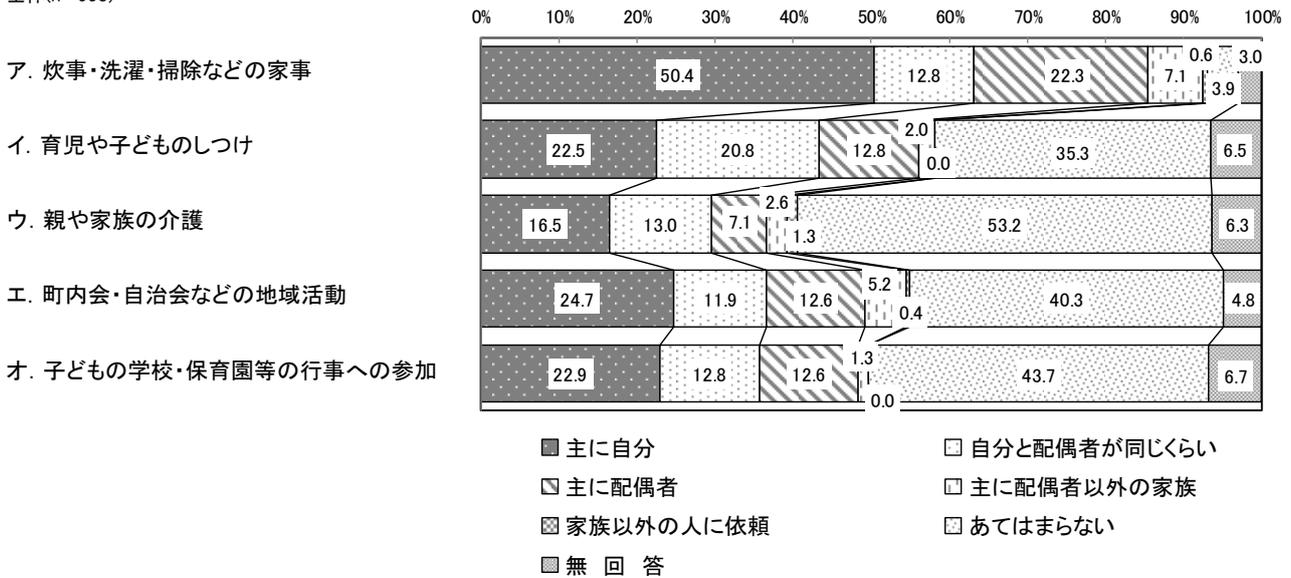
「自分と配偶者が同じくらい」と回答した方では、「育児や子どものしつけ」が20.8%、次いで「親や家族の介護」(13.0%)、「炊事・洗濯・掃除などの家事」・「子どもの学校・保育園等の行事への参加」(12.8%)となっています。

「主に配偶者」と回答した方では、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が22.3%、次いで「育児や子どものしつけ」(12.8%)、「町内会・自治会などの地域活動」・「子どもの学校・保育園等の行事への参加」(12.6%)となっています。

「主に配偶者以外の家族」と回答した方では、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が7.1%、次いで「町内会・自治会などの地域活動」(5.2%)、「親や家族の介護」(2.6%)となっています。

「家族以外の人に依頼」と回答した方では、「親や家族の介護」が1.3%、次いで「炊事・洗濯・掃除などの家事」(0.6%)、「町内会・自治会などの地域活動」(0.4%)となっています。

問17 主な家事従事者[%]
全体(n= 538)



ア. 炊事・洗濯・掃除などの家事

全体では、「主に自分」が 50.4%、次いで「主に配偶者」(22.3%)、「自分と配偶者が同じくらい」(12.8%) となっています。

性別で見ると、男性で「主に自分」(19.0%) が全体よりとても低くなっています。女性で「主に自分」(72.4%) が全体よりとても高くなっています。

性・年代別で見ると、男性 40 歳代 (18.4%)、男性 50 歳代 (9.7%)、男性 60 歳代 (22.5%)、男性 70 歳以上 (20.4%) で「主に自分」が全体よりとても低くなっています。女性 40 歳代 (74.2%)、女性 50 歳代 (80.8%)、女性 60 歳代 (85.0%)、女性 70 歳以上 (80.3%) で「主に自分」が全体よりとても高くなっています。

女性 30 歳代で「自分と配偶者が同じくらい」(34.3%) が全体よりとても高くなっています。

		n	問17 主な家事従事者 ア. 炊事・洗濯・掃除などの家事						無回答
			主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	
全体		538	50.4	12.8	22.3	7.1	0.6	3.9	3.0
性別	男	210	★ 19.0	12.9	☆ 49.5	9.5	0.5	5.2	3.3
	女	315	☆ 72.4	12.7	● 3.2	5.4	0.6	3.2	2.5
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	■ 0.0	★ 0.0	☆ 50.0	0.0	0.0	50.0
	男・20歳代	17	★ 17.6	5.9	● 5.9	☆ 35.3	5.9	○ 23.5	5.9
	男・30歳代	22	★ 27.3	18.2	☆ 45.5	0.0	0.0	9.1	0.0
	男・40歳代	49	★ 18.4	12.2	☆ 57.1	10.2	0.0	2.0	0.0
	男・50歳代	31	★ 9.7	19.4	☆ 45.2	□ 19.4	0.0	6.5	0.0
	男・60歳代	40	★ 22.5	12.5	☆ 57.5	2.5	0.0	2.5	2.5
	男・70歳以上	49	★ 20.4	10.2	☆ 57.1	2.0	0.0	2.0	8.2
	女・20歳未満	3	★ 0.0	■ 0.0	□ 33.3	☆ 66.7	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	★ 23.8	□ 23.8	● 4.8	○ 23.8	4.8	□ 14.3	4.8
	女・30歳代	35	51.4	☆ 34.3	● 2.9	5.7	0.0	0.0	5.7
	女・40歳代	62	☆ 74.2	9.7	★ 1.6	9.7	0.0	4.8	0.0
	女・50歳代	73	☆ 80.8	13.7	★ 1.4	2.7	0.0	1.4	0.0
	女・60歳代	60	☆ 85.0	5.0	● 3.3	0.0	0.0	3.3	3.3
	女・70歳以上	61	☆ 80.3	6.6	● 4.9	0.0	1.6	1.6	4.9

イ. 育児や子どものしつけ

全体では、「主に自分」が 22.5%、次いで「自分と配偶者が同じくらい」(20.8%)、「主に配偶者」(12.8%) となっています。

性別で見ると、男性で「主に自分」(2.9%) が全体より低くなっています。女性で「主に自分」(35.9%) が全体よりやや高くなっています。

性・年代別で見ると、男性 50 歳代で「自分と配偶者が同じくらい」(41.9%) が全体よりとても高くなっています。女性 30 歳代 (45.7%)、女性 40 歳代 (46.8%)、女性 50 歳代 (47.9%) で「主に自分」が全体よりとても高くなっています。

		n	問17 主な家事従事者 イ. 育児や子どものしつけ						無回答
			主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	
全体		538	22.5	20.8	12.8	2.0	0.0	35.3	6.5
性別	男	210	● 2.9	24.3	○ 28.1	2.9	0.0	35.2	6.7
	女	315	□ 35.9	19.0	3.2	1.6	0.0	34.3	6.0
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	□ 50.0	50.0
	男・20歳代	17	★ 0.0	11.8	5.9	○ 17.6	0.0	☆ 58.8	5.9
	男・30歳代	22	● 4.5	13.6	☆ 45.5	0.0	0.0	36.4	0.0
	男・40歳代	49	■ 8.2	20.4	○ 30.6	2.0	0.0	38.8	0.0
	男・50歳代	31	★ 0.0	☆ 41.9	12.9	3.2	0.0	41.9	0.0
	男・60歳代	40	★ 2.5	○ 40.0	□ 25.0	0.0	0.0	27.5	5.0
	男・70歳以上	49	★ 0.0	14.3	☆ 38.8	2.0	0.0	■ 24.5	20.4
	女・20歳未満	3	★ 0.0	★ 0.0	☆ 33.3	☆ 66.7	0.0	★ 0.0	0.0
	女・20歳代	21	■ 9.5	● 4.8	14.3	9.5	0.0	☆ 61.9	0.0
	女・30歳代	35	☆ 45.7	17.1	■ 0.0	2.9	0.0	25.7	8.6
	女・40歳代	62	☆ 46.8	22.6	■ 1.6	0.0	0.0	29.0	0.0
	女・50歳代	73	☆ 47.9	28.8	■ 1.4	0.0	0.0	■ 21.9	0.0
	女・60歳代	60	□ 35.0	11.7	■ 1.7	0.0	0.0	40.0	11.7
	女・70歳以上	61	16.4	18.0	4.9	0.0	0.0	□ 45.9	14.8

ウ. 親や家族の介護

全体では、「主に自分」が16.5%、次いで「自分と配偶者が同じくらい」(13.0%)、「主に配偶者」(7.1%) となっています。

性別で見ると、男性で「主に自分」(5.7%) が全体よりやや低くなっています。

性・年代別で見ると、女性50歳代で「主に自分」(38.4%) が全体よりとても高くなっています。

		n	問17 主な家事従事者 ウ. 親や家族の介護						無回答
			主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	
全体		538	16.5	13.0	7.1	2.6	1.3	53.2	6.3
性別	男	210	■ 5.7	16.2	11.9	4.3	2.4	52.9	6.7
	女	315	24.1	11.4	3.5	1.6	0.6	53.0	5.7
性・年代別	男・20歳未満	2	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	男・20歳代	17	● 0.0	17.6	0.0	11.8	0.0	□ 64.7	5.9
	男・30歳代	22	● 0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	☆ 90.9	0.0
	男・40歳代	49	8.2	16.3	6.1	4.1	8.2	57.1	0.0
	男・50歳代	31	16.1	12.9	12.9	0.0	0.0	58.1	0.0
	男・60歳代	40	■ 2.5	○ 30.0	□ 20.0	5.0	2.5	● 37.5	2.5
	男・70歳以上	49	■ 4.1	12.2	□ 20.4	4.1	0.0	● 36.7	22.4
	女・20歳未満	3	● 0.0	■ 0.0	☆ 33.3	☆ 33.3	0.0	● 33.3	0.0
	女・20歳代	21	● 0.0	■ 0.0	□ 19.0	4.8	0.0	☆ 76.2	0.0
	女・30歳代	35	■ 5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	☆ 80.0	8.6
	女・40歳代	62	□ 27.4	9.7	1.6	3.2	1.6	56.5	0.0
	女・50歳代	73	☆ 38.4	16.4	2.7	1.4	0.0	■ 41.1	0.0
	女・60歳代	60	○ 31.7	13.3	1.7	0.0	0.0	43.3	10.0
	女・70歳以上	61	16.4	13.1	3.3	0.0	1.6	50.8	14.8

工. 町内会・自治会などの地域活動

全体では、「主に自分」が 24.7%、次いで「主に配偶者」(12.6%)、「自分と配偶者が同じくらい」(11.9%) となっています。

性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「主に自分」(14.3%) が全体よりやや低くなっています。女性 60 歳代で「主に自分」(35.0%) が全体よりやや高くなっています。

		n	問17 主な家事従事者 工. 町内会・自治会などの地域活動						
			主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答
全体		538	24.7	11.9	12.6	5.2	0.4	40.3	4.8
性別	男	210	22.4	11.4	16.2	5.7	0.5	38.6	5.2
	女	315	26.0	12.4	10.5	5.1	0.3	41.6	4.1
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 50.0	0.0	★ 0.0	50.0
	男・20歳代	17	● 5.9	5.9	■ 0.0	☆ 29.4	0.0	□ 52.9	5.9
	男・30歳代	22	★ 4.5	4.5	9.1	4.5	0.0	☆ 77.3	0.0
	男・40歳代	49	18.4	8.2	20.4	6.1	0.0	44.9	2.0
	男・50歳代	31	25.8	12.9	12.9	6.5	0.0	41.9	0.0
	男・60歳代	40	30.0	17.5	22.5	0.0	0.0	■ 27.5	2.5
	男・70歳以上	49	32.7	14.3	18.4	0.0	2.0	★ 18.4	14.3
	女・20歳未満	3	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 33.3	0.0	☆ 66.7	0.0
	女・20歳代	21	★ 0.0	■ 0.0	9.5	14.3	4.8	☆ 71.4	0.0
	女・30歳代	35	■ 14.3	5.7	2.9	5.7	0.0	☆ 62.9	8.6
	女・40歳代	62	30.6	11.3	4.8	8.1	0.0	45.2	0.0
	女・50歳代	73	30.1	15.1	12.3	4.1	0.0	38.4	0.0
	女・60歳代	60	□ 35.0	11.7	15.0	3.3	0.0	■ 30.0	5.0
	女・70歳以上	61	24.6	19.7	14.8	0.0	0.0	■ 29.5	11.5

オ. 子どもの学校・保育園等の行事への参加

全体では、「主に自分」が22.9%、次いで「自分と配偶者が同じくらい」(12.8%)、「主に配偶者」(12.6%)となっています。

性別で見ると、男性で「主に自分」(3.3%)が全体より低くなっています。

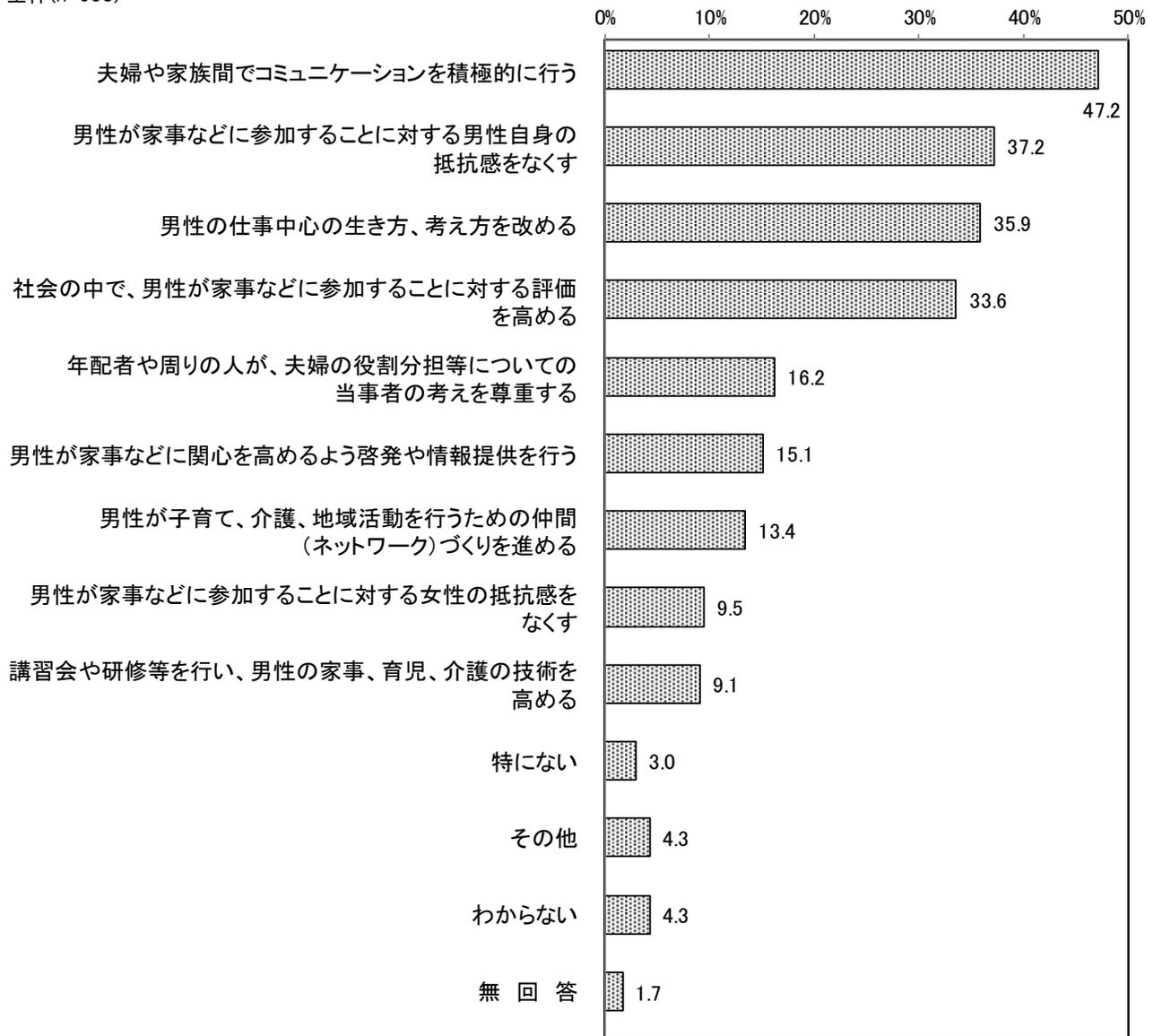
性・年代別で見ると、男性40歳代で「主に自分」(8.2%)が全体よりやや低く、「自分と配偶者が同じくらい」(28.6%)が全体より高くなっています。男性50歳代で「主に自分」(0.0%)の回答はなく、「自分と配偶者が同じくらい」(35.5%)が全体よりとても高くなっています。女性30歳代で「主に自分」(40.0%)が全体より高くなっています。女性40歳代(51.6%)、女性50歳代(50.7%)で「主に自分」が全体よりとても高くなっています。

		n	問17 主な家事従事者 オ. 子どもの学校・保育園等の行事への参加						無回答
			主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	
全体		538	22.9	12.8	12.6	1.3	0.0	43.7	6.7
性別	男	210	● 3.3	18.1	○ 27.6	2.4	0.0	41.4	7.1
	女	315	□ 36.2	9.5	3.2	0.6	0.0	44.4	6.0
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	男・20歳代	17	★ 0.0	5.9	5.9	☆ 23.5	0.0	○ 58.8	5.9
	男・30歳代	22	★ 0.0	18.2	☆ 36.4	0.0	0.0	45.5	0.0
	男・40歳代	49	■ 8.2	○ 28.6	20.4	2.0	0.0	40.8	0.0
	男・50歳代	31	★ 0.0	☆ 35.5	12.9	0.0	0.0	51.6	0.0
	男・60歳代	40	● 5.0	12.5	☆ 37.5	0.0	0.0	40.0	5.0
	男・70歳以上	49	★ 2.0	6.1	☆ 40.8	0.0	0.0	● 28.6	22.4
	女・20歳未満	3	★ 0.0	■ 0.0	☆ 33.3	☆ 33.3	0.0	■ 33.3	0.0
	女・20歳代	21	★ 0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	☆ 90.5	0.0
	女・30歳代	35	○ 40.0	17.1	■ 0.0	0.0	0.0	34.3	8.6
	女・40歳代	62	☆ 51.6	11.3	■ 1.6	0.0	0.0	35.5	0.0
	女・50歳代	73	☆ 50.7	12.3	2.7	0.0	0.0	34.2	0.0
	女・60歳代	60	28.3	5.0	■ 1.7	1.7	0.0	50.0	13.3
	女・70歳以上	61	23.0	6.6	6.6	0.0	0.0	50.8	13.1

(7)男女共同参画に必要なこと

全体では、「夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う」が47.2%、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」(37.2%)、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」(35.9%)となっています。

問18 男女共同参画に必要なこと[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
社会の働き方改革、雇用側が体制を整える	6
男性の意識改革	3
小さい頃からの習慣性が必要	2
性別によって役割分担を押しつけるような風潮をなくす	1
その他	11

性・年代別で見ると、男性40歳代で「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」(53.1%)が全体より高くなっています。

居住地区で見ると、栄町で「男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う」(31.0%)が全体より高くなっています。

居住年数で見ると、3年未満で「夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う」(33.3%)が全体よりやや低くなっています。

		問18 男女共同参画に必要なこと									
		n	夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う	男性が家事などに参加することに對する男性自身の抵抗感をなくす	男性の仕事中心の生き方、考え方を改める	社会の中で、男性が家事などに参加することに對する評価を高める	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考えを尊重する	男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	男性が子育て、介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりを進める	男性が家事などに参加することに對する女性の抵抗感をなくす	講習会や研修等を行い、男性の家事、育児、介護の技術を高める
全体		538	47.2	37.2	35.9	33.6	16.2	15.1	13.4	9.5	9.1
性別	男	210	46.7	32.9	37.6	29.5	11.0	15.7	14.3	11.0	13.3
	女	315	46.7	40.3	34.6	36.2	19.7	14.0	13.3	8.6	6.3
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	17	47.1	35.3	41.2	29.4	11.8	5.9	□ 23.5	□ 23.5	11.8
	男・30歳代	22	40.9	31.8	45.5	31.8	9.1	13.6	9.1	9.1	18.2
	男・40歳代	49	53.1	■ 24.5	○ 53.1	■ 20.4	8.2	18.4	14.3	4.1	12.2
	男・50歳代	31	□ 58.1	32.3	35.5	32.3	6.5	6.5	16.1	3.2	9.7
	男・60歳代	40	47.5	40.0	27.5	37.5	12.5	17.5	15.0	17.5	7.5
	男・70歳以上	49	■ 36.7	36.7	28.6	30.6	16.3	22.4	12.2	14.3	□ 20.4
	女・20歳未満	3	■ 33.3	33.3	☆ 100.0	☆ 66.7	○ 33.3	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	57.1	33.3	33.3	38.1	14.3	14.3	19.0	14.3	14.3
	女・30歳代	35	54.3	□ 48.6	28.6	42.9	14.3	17.1	8.6	8.6	5.7
	女・40歳代	62	38.7	29.0	37.1	33.9	19.4	11.3	11.3	8.1	6.5
	女・50歳代	73	42.5	32.9	30.1	38.4	26.0	20.5	12.3	5.5	2.7
	女・60歳代	60	53.3	□ 48.3	41.7	31.7	23.3	10.0	15.0	15.0	1.7
	女・70歳以上	61	45.9	□ 50.8	31.1	34.4	13.1	11.5	16.4	4.9	13.1
居住地区	神明台	78	38.5	29.5	43.6	33.3	17.9	11.5	16.7	14.1	10.3
	双葉町	26	42.3	○ 53.8	30.8	38.5	19.2	■ 3.8	15.4	11.5	7.7
	五ノ神	39	□ 61.5	30.8	● 20.5	41.0	17.9	20.5	5.1	10.3	17.9
	富士見平・羽4000番台	39	41.0	43.6	28.2	30.8	15.4	20.5	12.8	7.7	5.1
	緑ヶ丘	73	49.3	42.5	34.2	30.1	19.2	9.6	11.0	6.8	8.2
	栄町	42	50.0	33.3	40.5	31.0	16.7	○ 31.0	16.7	4.8	7.1
	小作台	62	56.5	37.1	32.3	29.0	14.5	11.3	21.0	8.1	12.9
	羽西	20	■ 35.0	35.0	45.0	40.0	■ 5.0	20.0	5.0	5.0	15.0
	羽加美	45	53.3	□ 51.1	□ 46.7	33.3	8.9	13.3	11.1	11.1	2.2
	羽中	38	52.6	34.2	36.8	36.8	13.2	15.8	13.2	7.9	7.9
	羽東	27	44.4	33.3	33.3	○ 51.9	14.8	18.5	□ 25.9	18.5	7.4
	川崎	23	● 30.4	■ 26.1	39.1	26.1	17.4	17.4	4.3	8.7	8.7
玉川・羽600～700番台	12	★ 25.0	33.3	■ 25.0	25.0	25.0	16.7	■ 0.0	16.7	0.0	
居住年数	3年未満	30	■ 33.3	■ 26.7	36.7	43.3	13.3	13.3	13.3	3.3	13.3
	3年以上5年未満	17	■ 35.3	○ 52.9	■ 23.5	35.3	■ 5.9	23.5	17.6	5.9	5.9
	5年以上10年未満	54	46.3	35.2	40.7	35.2	11.1	20.4	13.0	16.7	11.1
	10年以上20年未満	92	51.1	29.3	41.3	26.1	20.7	8.7	7.6	6.5	8.7
	20年以上	339	48.4	39.8	33.9	34.2	16.2	15.6	15.0	10.0	8.8